

No.	意見
76	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通ルールを守る取組(交通指導)が必要 (自転車の並走・ながらスマホ・イヤホンなど、及び自動車の危険な運転) ・ 学校のWi-Fi通信環境の改善が必要 (通信速度が遅い・強制終了が頻発する)、タブレット機器の不具合が頻発することも改善してほしい ・ 南海トラフ大地震への備え (広報含む) を万全にしてほしい
77	<p>教育 (学校) に力を入れる吉野川市になってほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンの使用環境の改善 (体育館のエアコンを使用すると教室のエアコンを切らなければならないのはおかしい。暑くて集中できない) ・ Wi-Fi通信環境の改善 (一クラス、一学年の接続すらままならない。授業やテストに支障が大きく出ている) ・ 部活動に係る費用の充実 (吹奏楽部で使用する楽器が不足している)
78	<p>田舎ならではの良さを感じているが、ショッピングモールや遊園地が近くにない、遠く (市外・県外) に行くにしても交通手段も不足しているため、気軽に行くことができない。JRの便数を増やしてほしい。近くにショッピングモールや遊園地があるといい。</p>
79	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校則について必要ないと思う校則が多くある ・ 学校のエアコンの電気量基準を見直してほしい (体育館のエアコンを使用する際は教室のエアコンを切ることになり、暑くて熱中症になりそうだ) ・ あすたむランドのような遊べる場所を近くにつくってほしい ・ 徳島の良さをもっとSNSで発信するべき。魅力をもっと知ってもらえばもっと活気が出ると思う
80	<ul style="list-style-type: none"> ・ 徳島に路面電車を整備してほしい (交通インフラが不足している)。電車が整備されることで駅周辺の活性化、車を使わず歩く人口の増加などが期待できる。 ・ 道路交通マナーをもっと周知徹底し、事故を防ぐことが必要 ・ 「こどもまんなか社会」から想像する未来は、こどもがみんな学校に行くことができたり、同じような生活を送ることができる社会
81	<p>外国人観光客や若い人に多く訪れてもらえる吉野川市にしたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然を活かした徳島ならではの体験活動ができる施設をつくる ・ 外国人観光客への徳島の魅力発信 (阿波おどり)
82	<p>より良い吉野川市にするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近に小中高生が遊べるイベントや施設を作ってほしい (交通費に多くのお小遣いを使わなくてよいように) ・ 学校ごとに「清掃ボランティア」活動をする。自分たちがきれいにすることで、町をきれいに保とうとみんなが心がけるようになればいいと思う。 ・ 「挨拶」について ひとりひとりの心がけも必要だが、吉野川市全体で呼びかけることにより、みんなが積極的に挨拶ができるようになるとより良いと思う。

No.	意見
83	<ul style="list-style-type: none"> ・平等に教育が受けられる社会に（経済的な理由や家庭の事情（ヤングケアラーなど）により学校に行けない子どもや部活動に参加できない子どもの問題） ・国境のない世界に（戦争、人種差別などで多くの人が苦しんでいる問題） ・飢餓に苦しむ子どもたちのない世界に（日本の食品ロスの問題／買い物の仕方や給食の残飯など、自分事として考えていく必要がある）
84	<p>吉野川市にほしいもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野球場（サッカー場は多いが野球の練習・試合ができる場所が少ない） ・倉庫店スタイルの低価格スーパー（大きなショッピングモールができると吉野川市（流入）人口が増加する） ・大型スポーツ用品店（市外に行かなければならないため不便） ・室内スキー場 ・若者に人気のコーヒーチェーン店 ・道路に出てきている草や木を刈ってほしい（自転車で走行する際に危険） ・屋内遊技場（ボーリング・ビリヤード・ダーツなどが体験できる施設） <p>自然が豊かであること（吉野川市の良さ）は守っていききたいと思う</p>
85	<ul style="list-style-type: none"> ・JRの便数を増やしてほしい（混雑する徳島駅では、切符を買う手間がかかり乗り遅れてしまうと1時間先まで次便に乗れない。夜間の場合、門限に間に合わないだけでなく、帰宅時間が遅くなり駅から自宅までの夜道が不安） ・映画館を吉野川市につくってほしい（仕事で忙しい家族に連れて行ってもらえないと行けない） ・道路（歩道）に出ている雑草をきれいに刈ってほしい。登下校に自転車で走行する際に危険。
86	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で熱中症になりやすい。エアコンを使用できず保健室に行く子が増えている。電気代を大人が支えているので難しいのは理解できるが、快適に授業に集中できる環境にしてほしい。 ・デパートやプール、人が多く集まる施設をつくってほしい。 ・全年齢で楽しめ、人と交流できる行事、祭り、体験イベント（畑仕事体験など）を増やして、様々な人と出会い、話す機会を作ってほしい。 ・徳島の魅力を再確認し、豊かな自然環境を守り、観光客にも地元の人にも愛される場所になってほしい。
87	<p>吉野川市のよいところ（自然がきれい、人がやさしい）</p> <p>高齢者に関する学びやボランティア活動などとおして、よりよい吉野川市にしていきたい。</p>
88	<p>物事や事象に対する人の「捉え方」は多様であり、善悪の基準すら百人百様である。そのため多くのトラブル（争い、喧嘩、傷つけ合い）が起こっている。SNS上で起こる無用とも思えるこういった問題や、協力し合い解決しなければならない様々な社会問題を前に、良い未来を願ってもいいのだろうかと考えさせられる。これもまた、「私」の捉え方の一つに過ぎないが、他の人の考え方、発想を知り、より良い世界にするために、みんなで気遣い協力のできる世界になってほしい。</p>

No.	意見
89	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に公園、大型ショッピングモール、スポーツ施設を建ててほしい（学生が近場で遊べる場所がほしい） ・JRの便数を増やしてほしい（1時間に1本、多くて2本しかないため、予定が立てづらい） ・遊園地、動物園、水族館などをつくってほしい ・コンビニ含む店舗をもっと増やしてほしい。祭りなど行事のときは、駅のコンビニに大行列ができ、自販機はどれも完売だった。 ・学校のエアコンの設定温度を見直してほしい。制限が厳しく勉強に集中できない。熱中症になる子どもも増えている。体育館にもエアコンを使用できるようにし、勉強やスポーツに取り組める、よりよい環境にしてほしい。 <p>吉野川市を若い人が充実して住めるよう改善し、若い人を増やし、たくさんの方が働き、吉野川市を活発にしてほしい。</p>
90	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊ぶことのできる施設（公園、市民プール、遊園地、パークなど）を作ってほしい ・祭りやイベントを増やしてほしい <p>大人も子どもも楽しむことができ、盛り上がり、よりよい吉野川市の未来が見えてくると思う。</p>
91	<p>交通事故のない吉野川市に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルメットの着用の徹底（高校生や大人）
92	<ul style="list-style-type: none"> ・遊び場をつくってほしい ・向麻山にロープウェイをつくってほしい ・JRの便数を増やしてほしい（1時間に1本は少なすぎる・通学に不便） ・野良犬や野良猫を保護してほしい ・交通安全への取組をしてほしい ・商店街を復活させてほしい ・子ども食堂をつくってほしい（高齢者や困っている人にも提供するとよい） ・フードバンクをいろいろなスーパーに設置してほしい
93	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人たちと関わる機会（行事など）が少ない。関わる機会を増やすことにより、お互いに知ることができ、災害時などには一緒に協力できる。 ・楽しく遊ぶことのできる場所がない（友達の体を動かして遊ぶ機会が少ない。家でゲームをしたり動画を観たりすることが多くなる） ・ゴミのポイ捨てに関する注意喚起をしてほしい（清掃ボランティアに参加するとポイ捨てがいかに多いかが分かる） <p>住んでいて良かったと思える吉野川市になってほしい。</p>
94	<p>「こどもまんなか社会」</p> <p>子どもが生涯にわたって幸福な生活を送る社会の実現のためには、大人が自分の行動に責任を持つことが何よりも大切。ニュースで報道される児童虐待は責任感が欠如した行為であり、私たちには命を大切に尊ぶ責任があると思う。また、自分を含む学生のちょっとした悪ふざけのような行為も、周囲への迷惑行為となっている場合がある。</p> <p>「こどもや若者にとってよいこと」は、よい生活環境と多様性のある意見の中で生きることだ。大人の責任感のない私欲のための行為は、こどもへの大きな悪影響と障害になる。「自分」ではなく、自分を含む「みんな」のために考え行動しよう。</p>

No.	意見
95	<p>よりよい社会を築くために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんながルールやマナーを守ること。安易にゴミのポイ捨てをしない。 ・祭り（行事）の開催や店舗を開くことで町に人を集める。 ・若い人が、一生懸命学ぶこと。しっかり学び、少子高齢化社会のなかで、少ない人数で社会を支えていけるように。 <p>世界中に数多くある問題にきちんと向き合い、一つでも少なくし「よりよい世界」をつくることを目指したい。</p>
96	<p>最近困っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路や用水へのゴミのポイ捨て（ペットボトルやお菓子の包装など。環境破壊にもつながるので市からも強く呼びかけてほしい） ・学校のW i - F i 環境（ほぼ毎回インターネットの接続が悪く、授業の半分を無駄にしている。強い電波のものを複数設置してほしい） ・学校の授業や部活動で使う体育道具（古いために使い勝手が悪く、怪我をしてしまった人が多数いる。新しい物に換えてほしい） ・家周辺の道路が非常に狭く通行しづらい（市役所に相談したこともあるが何年たっても改善されていない。早急に道路の幅を改善してほしい） ・学校施設環境の改善（エアコンを適正に使用できるようにしてほしい。学校のプールを消防の訓練で使用した際に、掃除がきちんとできておらず汚れたプールに入らなければならない。掃除をするか、他の施設で訓練してほしい）新しい施設をつくるよりも、学校環境にお金を使ってほしい。
97	<p>学校内のW i - F i 通信環境を改善してほしい。タブレットを授業で使用する際、電波の状況が悪く授業時間の半分が削られてしまっている。授業への集中も切れてしまう。時間はみんな平等なのに、通信障害で時間を有効に使うことができない。アリーナにお金を使うよりも、学校にお金を使ってほしい。インターネットの利点は「分からない」と思ったときに調べられる、情報が得られるというものだ。せっかく支給してもらったタブレットが有効活用できるようにしてほしい。フィルタリングについても改善してほしい。インターネットを、安全にどの学校でも同じように使えるようにしてほしい。</p>
98	<p>交通ルールやマナーを守り、迷惑行為のない安心して生活できる吉野川市にしてほしい。交通ルールに関しては、ヘルメットをかぶらず自転車に乗っている小中学生を見かけるので、もっと着用を呼びかけるべきだ。また公共の施設でのマナーは、誰にも分かりやすく掲示するべきだと思う。ニュースで見るとような事件や事故が起こらない吉野川市になってほしい。</p>

No.	意見
99	<p>なぜ今「こどもまんなか社会」なのか</p> <p>①こどもの意見を尊重するため：中学生には選挙に参加し投票することはできないが、若者が社会で活躍する番だからこそ、積極的に自分の意見や考えを言える（書き込める）場所があるといいと思う。大人とこどもの意見は違っていることもあるからこそ、意見を聞ける場所を設けることでお互いの考えが分かると思う。</p> <p>②こどもの活躍する社会をつくるため：こどもが活躍できる場をたくさん設けることはできるはず。私はボランティア活動のように人々のために活躍したい。市民プラザ内の図書館の勉強スペースが少ない。もっとこどもが勉強できるスペースを作ってほしい。</p> <p>現在急速なスピードで少子高齢化が進んでいる。こどもが将来にわたり幸福な生活を送ることができる「こどもまんなか社会」をつくることは大変なことだが、私たちの普段考えていることや意見を聴いてくれるので、この作文で少しでもよい未来になり、自分よりも若いこどもたちが生きやすい場所になればいいと思う。</p>
100	<p>少子高齢化社会のなかで、こどもまんなか社会を実現することはできるのか分からないが、こどもの意見を聴き、事故をなくし、貧困のために住む場所や食べるものに困っているこどもたちを救ってほしい。</p>
101	<p>私の思い描く「吉野川市」</p> <p>市民一人ひとりが助け合い、快適に暮らせる吉野川市。みんなが、困っている人に「どうかしましたか」と声をかけることのできる吉野川市。</p> <p>そのたった八文字の声をかけるのには大きな勇気が必要だ。市民が助け合いやすくするには、まず仲良くなることだと思う。仲良くなる具体的な方法として、一番簡単で早いのは「あいさつ」だ。毎日の行き帰りに挨拶をしてみると、遭遇する人は顔見知りになり声をかけやすくなる。助け合いや挨拶は、一人ひとりの意識で変えることができる。市民一人ひとりがその意識を持てば、私たちの吉野川市はとても住みやすい市になると思う。</p>
102	<p>「こどもまんなか社会」では、こどもがそれぞれの個性を尊重し認め合える未来であればいいと思う。こどもが将来を考えると、迷うほどの選択肢があり、夢を大きく持てるように。また、ロボットが生活に深く関わってきているが、こどもが自然を身近に感じられる社会であってほしいと思う。</p>
103	<p>交通事故のない、安全で生活のしやすい吉野川市になってほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道のない場所で道路を横断する人（歩行者） ・一時停止をしない人、ヘルメットがきちんと着用できていない人（自転車） ・信号無視をする人（自動車） ・スピードを出しすぎている人（自動車） <p>中学校で交通ルールを改めて確認する必要がある。また、自動車に乗る大人も交通ルールについて学ぶ必要があると思う。</p>
104	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生への塾代を支援してほしい ・登下校で通る道路がガタガタで、自転車で通るのはもちろん、バイクや歩行者、自動車にとっても危険だと思うので整備してほしい ・夜間に歩行者を視認しやすくする（反射たすき、外灯など）ことで、事故を防ぐことができると思う

No.	意見
105	<p>こどもの成長に直結する様々な面をサポートすることが「こどもまんなか社会」の実現につながる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育の充実と平等教育の実現（教員の資質向上、学校施設の整備、教育への投資の増加、学校教育以外の様々な教育機会の確保） ・保健医療の充実（健全な発達を支援するため、予防接種、健康診断、メンタルヘルスケアなど早期かつ継続的な医療サービスの提供） ・こどもの発育をサポートする環境づくり（安全な遊び場の整備、栄養バランスのとれた食事の提供） ・子育て支援の強化（保育施設整備や質の向上、育児休業制度の充実、こどもの貧困対策）
106	<p>ごみのポイ捨てのない吉野川市になってほしい。清掃ボランティアを通して環境問題を考えることができた。環境を大切に、人々や生き物が安全に暮らしやすい環境をつくっていききたい。またそのために自ら行動していききたい。</p>
107	<p>人口が減ると負の連鎖を生みやすいので、今あるものを使って活性化させてほしい。選挙にも若者が参加しやすい仕組みをつくるべき。選挙への関心を高め、積極的に参加してもらえるようにする。</p>
108	<p>「夢を守る」</p> <p>こどもたちが夢を持ち、大人はその夢を大切にすることが「こどもまんなか社会」の第一歩だと思う。こどもたちが、のびのびと楽しく社会で暮らし、就きたい仕事につくことができ、社会の役にたてる未来であればいいと思う。</p>
109	<p>大人もこどもも安心して暮らせる吉野川市にするために、住みやすい環境をつくるべきだ。</p> <p>例) みんなが利用できるプール、夏の公園にはスプリンクラーを設置、学校が休みのときに利用できる図書館や集会所（自習や読書ができる場）、近場に映画館やショッピングモールなど。</p>
110	<p>吉野川市に女子サッカーチームや障がいのある中高生のサッカーチームを作れる環境をつくってほしい。サッカーチームは男子ばかりであることが多く、練習やコミュニケーションに不便を感じている。自分以外にもサッカーの楽しさを伝えたいし、一緒にできたら嬉しいと思う。</p>
111	<ul style="list-style-type: none"> ・大きなショッピングモールをつくってほしい（徳島市まで行くためには交通費も時間もかかる。特に吉野川市には学生・若者を対象にした服屋がない） ・観光振興してほしい（名産品を活かした料理を提供する施設や吉野川市の自然を満喫できるツアーの実施など） ・中学校の体育館にエアコンを付けてほしい。扇風機では効果があまりない。今夏を乗り切れるか不安。

No.	意見
112	<p>「こどもの未来を未来に繋ぐ」</p> <p>今の日本の大人たちは子どもの意見に全く耳を傾けていないと思う。ブラック校則ばかり。ルール（校則）だから仕方ないといって禁止している。教育委員会や政治家は、子どもは未来の宝だと言っているのに、ルールに縛り付けて無理矢理従わせている。意見を聞かないくせに、今の気持ちを教えてください、意見をくださいと言ってくる。その政策自体はいいと思うので続けてほしいが、こどもにこのようなことを思わせないようにするのが一番だと思う。</p> <p>子どもの味方は、親や周囲の大人しかいないのに、何の処置もしないのなら味方がいないのと同じだ。未来の宝を未来に残すためにも、子どもの意見を聴くだけでなく、大人自身がまず考えていかなければならないと思う。</p>
113	<p>今の吉野川市には子どもが遊ぶことのできる施設がなく、市外に行かなければならないので大型ゲームセンターがあるとよい。また高齢者の人が近くで買い物できるようデパートなどの施設をつくってほしい。</p>
114	<p>子どもやお年寄り、障がいのある人にとって優しい吉野川市になってほしい。みんなが集える公園、こどもが勉強できる図書館、貧困家庭のためのこども食堂、交通事故のない町、ユニバーサルデザインの施設、医療（病院）の充実、子育てのしやすい環境をつくるなど。</p>
115	<p>日本は諸外国に比べて、殺人などの重い犯罪を犯した人への刑事罰が軽いと思う。特に少年の場合は重い罰を科せられない。中には反省し戻れる人もいるのかもしれないが、全てがそうではないと思う。犯罪被害者の家族が納得のできる少年法にするべきだ。</p> <p>こどもが遊びに行ける遊園地、ゲームセンター、スポーツができる公園のある吉野川市になってほしい。</p>
116	<p>ゴミの分別収集ができる分別施設を市内に多く作ってほしい。ペットボトルのキャップを分別することにより、その収益金が世界中のこどものワクチンに活用できることなどを周知し、リサイクルを推進する吉野川市になってほしい。</p>
117	<p>少子化問題について</p> <p>「こどもを産んだ後ずっと教育などに費用がかかるため継続的な支援が必要」「子育てがしやすい環境が必要」を解決できなければ少子化は止められないと思う。成功している自治体を参考に取組むといいのではないか。</p> <p>「こどもまんなか社会」を実現するために、既存のルールなどについて自分の考えを持ち、それを実現する努力をすること、そしてそれを周囲へ伝えることを、自ら取り組んでいきたい。</p>
118	<p>理想の未来の吉野川市は、幅広い年齢層の人がスポーツをとおして笑顔になれる町。市民アリーナやサッカー場はあるが、野球場がないため試合のできる野球場をつくってほしい。また、試合やその観戦に来た人が利用できる飲食店など店舗も駅前などに多くあるとよい。その他、スポーツ店やゲームセンター、大型ショッピングモール、映画館などをつくってほしい。</p>
119	<p>こどもや国民が主体となる国（今は憲法で定められているがそうではないと感じることが多いため）になってほしい。「こどもまんなか社会」を実現するために、地域の人への挨拶や身近な助け合い（ゴミ拾いなど）を進んでほしい。また、携帯電話の使用時間については、おおまかなルールではなく、具体的に定めることで守る人が増えるのではないかとと思う。</p>

No.	意見
120	<p>一時停止の無視、踏切を自転車に乗ったまま停止せずに横断、信号無視などをする人を度々見かける。交通事故のない吉野川市にするために自分にできることは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故につながる「大丈夫」という言葉をなくすこと ・自分の身を守るためにヘルメットを着用すること ・周囲への確認を常におこなうこと
121	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事をしている人の休暇を増やすこと（ストレスを発散したり、家族で旅行したりすることで、体調を崩さずいられるため） ・様々な身の回りの差別をなくすこと（みんなが嫌な思いをしないため） <p>こうなってほしいと思う国や吉野川市にするため、この作文を書くことや考えること、周りの人に伝えることで、この国を変えていきたい。</p>
122	<p>こどもが社会の真ん中に立ち、その意見を尊重される社会の実現に必要な環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭での教育の充実 ・こども向けの施設やイベントの充実（こどもが活躍できる場を増やす） <p>こどもの意見を聴き、こどもの想像力に富んだ柔軟な発想を取り入れたイベントやプロジェクトにより、社会に新しい価値観を生み出し、そうすることで大人も新たな気づきを得、持続可能な未来を築くことができると思う。</p>
123	<p>人への思いやりのある町になってほしい。</p> <p>交通ルール無視やゴミのポイ捨てなどの行為も、人への思いやりがあればなくなると思う。思いやりは「人の嫌がることをしない」こと。そしてそれは行動と言葉からなるものだ。思いやりのあるこどもたちが育ってくれたら、吉野川市はとて素晴らしい町になり人口も増加し発展していくと思う。</p>
124	<p>未来の吉野川市は、教育に力を入れ、学校や図書館が充実し、こどもたちが好奇心を持ち、夢を追い求める環境が整っているよう願う。</p>
125	<p>「こどもまんなか社会」とはどういう社会か。「こどもを軸に回る社会」「こどもが今よりもっと大切に扱われる社会」「こどもがいると得をする社会」結果的にこどもが増える社会（少子化に終止符が打たれる）になれば社会は労働力を取り戻し新たな発展が望めると思う。そのためには、こどもを持つことによるデメリットを減らさなければならない。教育費や食費など。さらにメリットを増やすこと。人は損得勘定で生きているので、デメリットがなくなり、メリットが増えれば皆こどもを持つとしようとするだろう。この社会イメージを実現する力を得るため、勉強し努力して影響力のある人になろうと思う。</p>
126	<ul style="list-style-type: none"> ・「こういう社会になってほしい」もっと警察に早く動いてほしい。最近ニュースで、もっと早く警察が動いていたら助かった命や救えた命があるのではないかと感じる事件が多いため。警察は少しのトラブルにいちいち対応できないとは思いますが、もう少し早く動くことで被害に遭う人や亡くなってしまおう人をなくしてほしい。 ・日ごろ疑問に思うことは「正しい」に従っていて守れるものはあるかもしれないが、守れないものも沢山あるということだ。「正しい」の判断基準ではなく「守れるか守れないか」の基準で判断すれば、もっと助かるものがあるのではないか。そのことに少しでも皆に気づいてほしいと思う。

No.	意見
127	<p>「こうあってほしい吉野川市の未来像」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通マナーのよい吉野川市 スピードの出し過ぎ、信号無視、逆走などの交通ルールを無視した車をよくみかける。事故のない安全な吉野川市にするために、交通ルールを守ることを意識してほしい。 ・公共の場がきれいな吉野川市 公園にゴミのポイ捨てが多い。出たゴミは持ち帰る、ゴミが追っていたら拾ってゴミ箱へ捨てる。どちらも難しいことではないが、一人ひとりが意識しなければ変わらないことだ。
128	<p>地球規模で問題となる環境破壊だが、身近なところではゴミのポイ捨てが非常に多い。一人ひとりの意識の持ち方で改善できることは改め、普段の生活マナーを見直すことで、明るい未来を目指したい。</p>
129	<p>身の回りの様々なルールがあることによって、安全に生活できたり、人といい関係を築けたりする。交通ルールや校則、マナーなどみんなが守ることで、みんなが笑って安全に生活できる吉野川市になると思う。</p>
130	<p>常に思いやりとゆずりあいの心を持ち、幅広い世代が安心して暮らせる吉野川市にしたい。</p> <p>日々の生活の中で疑問に思うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の渋滞の原因に譲り合いの気持ちがないことがあるのではないか ・障がい者用の駐車スペースにそうではない人が停めていること ・たばこの吸い殻のポイ捨てが非常に多いこと（禁煙スペースと喫煙スペースのバランスは、吸う人と吸わない人の両方の視点から考えるべきではないか）
131	<p>交通ルールは自分や相手の命を守るための大切なルールだと思う。また、軽い気持ちやノリによるゴミのポイ捨ては、環境への影響を考えると絶対に守るべきマナーだと思う。ルールを守る人が増えればいいと思う。</p>
132	<p>「こどもまんなか社会」とは「子どもを真ん中に据えて、寄り添い、これからの社会を創っていく為の取組を行う」ということのような。</p> <p>私たち子どもが、大人に期待する「寄り添う」とは、横にピタリと寄り添い導くことではなく、その意志を尊重するというもの。ものすごいスピードで大きく変動する時代の中で、大人と子どもの価値観や考え方は大きく異なるはずだ。大人の価値観を押しつけたり、子どもたちに失敗をさせないように導くのではなく、そっと後ろから応援してほしいと思う。</p>
133	<p>以前目の前で車と小学生が衝突する事故を目にし、一瞬で大きな事故が起こる怖さを知った。交通事故を起こさないためには、日ごろから交通ルールを守り気をつけることが大切だが、併せて、事故が起こりやすい交差点などには標識やミラーを設置し、安心して通行できるようにすることが必要だと思う。</p>

No.	意見
134	<p>道路や川、学校などゴミのポイ捨てが目につく。それを拾うことはもちろん大事だが、最初からポイ捨てをしなければ「ポイ捨て禁止」というポスターを描く必要もない。タバコの吸い殻が道路に多く落ちている。一番触りたくないゴミなので、決まった場所で吸い決まった場所に捨ててほしい。学校に落ちているのも疑問だ。運動場にお菓子の袋や食べ物の袋が落ちているが、自分でゴミを捨てられないなら外で食べないでほしい。周りの人を不快にさせるポイ捨てはしないようにし、ゴミが一つも落ちていないきれいな吉野川市になればと思う。</p>
135	<p>スマートフォンに頼らなくても、友達とのコミュニケーションに不便は感じないし遊びに行くこともできる。直接話すことで伝わる、伝えられる感情はあると思う。一方で、スマートフォンの一番の効果は、必要な情報を瞬時に共有できることだと思う。災害時には多くの人が情報を得られる。楽しい情報も沢山あり、スマートフォンの延長線上にドラえもんの世界（未来）はあるのかもしれない。未来のために誰もが情報を得られる環境が必要だ。吉野川市もそうであってほしいと思う。</p>
136	<p>校則について、なぜツブブロックやお団子がダメなのかを教師に尋ねても「校則だから」「受検に行けない派手な髪型だから」といった返事しか返ってこない。これでは、なぜダメなのか分からないし、法律よりも校則の方が上なのか（髪型を自由に決めることができる自己決定権は？）と疑問ばかり大きくなる。夏の制服の下には白色のみだとか、くぶしソックスやポニーテールは禁止だとか疑問ばかりの校則が沢山ある。時代は大きく変わっているのに校則は変わっていないから「ブラック校則」と言われるものが出てきているのだと思う。生徒会を中心に皆の納得する校則に変えていくため、今から考えていきたいと思う。</p>
137	<p>交通事故を少しでも減らすためには、日々報道される事故のニュースを自分事として捉え、みんなが交通ルールを守ること、そして同時に、安全に通行できる道路の整備が必要だ。車道はもとより、歩行者や自転車が通る箇所が、でこぼこしており、点字ブロックもガタガタになっているところが多い。歩行者、自転車、車のそれぞれが安全に通行できるようにしてほしい。道路が整備され、皆の気をつける意識と、周囲を気遣う生活をすることによって、少しでも事故を減らしていけたらと思う。</p>
138	<p>子どもたちがいつでも気軽に遊びに行ける公園をつかってほしい。また、大型ショッピングモールをつくり、大人が買い物を楽しめるような町にしてほしい。また、最近よく聞く「こども食堂」をもっと数を増やすことで、夏休みなど長期休暇中や普段の休日に、日中親がいない子どもが無料もしくは安価に楽しくご飯を食べられる場所をつくると思う。少しでも、吉野川市民がこうあってほしいと思う吉野川市に変わってほしい。</p>
139	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題にもなるゴミのポイ捨てについて。タバコ、空き缶、ペットボトルやコンビニのゴミなど、ゴミ拾いのたびに同量のゴミが落ちている。 ・交通ルールへの誤った認識について。交通ルールを守らず「事故は起こらない」「事故が起こったら相手のせい」という誤った認識の人が多く、小学生にも道路に飛び出して事故に遭った子もおり、年代関係なくルールを守るという意識がなくなっていると思う。 <p>以上の二つに共通しているのは、意識すると誰でもできるということであり、できれば吉野川市がもっと安全に平和になるということだ。一人ひとりの意識と努力が必要。</p>

No.	意見
140	<p>今の吉野川市でこどもの意見はあまり重要視されず、大人の考えが中心となっていると感じる。また、子どもが意見を言える場もなく、子どもは大人の考えに従ってしまっている。子どもと大人では考え方に大きな違いにあるにも関わらず、子どもは言われるがままに行動してしまうこともある。そういった子どもも、心の中では多くのことを考えているのではないかと思う。</p> <p>吉野川市には、たくさんの人がいて多くの考え方があがるが、そこで悲しい思いやつらい思いをする人を減らし、笑顔が溢れる吉野川市にしていきたい。</p>
141	<p>交通事故をできるだけ減らすためには、自動車の不注意だけでなく自転車に乗る人や歩行者の不注意でも起こるものだ。ながらスマホやイヤホンをつまみこむ、強引に道路を横断するなどの危険な行為をせず、自分のできることを面倒がらずしっかり行っていきたい。</p>
142	<p>校則の中にはブラック校則と呼ばれるものがある。</p> <p>一番に思うのは小学校では可だったツーブロックの禁止だ。髪型はその人の特徴を表すものだと思うので制限をする理由が分からない。頭髪に関するものだけでも、男子は耳にかかったら切る、女子は肩にかかったら結ぶという長さ規定、その他、眉毛の手入れの禁止、授業中の水分補給の禁止などがある。一方で、染髪やパーマの加工の禁止や登下校中の飲食店などへの立ち寄りの制限はあってもいいと思う。なぜなら、校則は、私たちが安全に学校生活を過ごせるようにあるものだと思うからだ。</p>
143	<p>交通ルールについて改めて自分を振り返ってみると、並進や一時停止しないなど、気づかず危険な行為をしてしまっていたことに気づいた。交通ルールをよく知り理解することで、当たり前なことを当たり前でできるようになりたいと思う。</p>
144	<p>こども政策の財源として「藍染めがっばり徳島県」を提案する。従来のすくもではなく、県内の研究機関が開発した沈殿藍を使用し、国内の合成インディゴのシェアを独占していこうというもの。そこで得られた利益の一部を税金として納めてもらうが、同時に財政の透明化をしてもらいたい。藍による税金を含めて、収入と支出の状況を分かりやすく示してほしい（現在の県ホームページは分かりにくい）。まず最初にこども政策でしてほしいことは、学校設備の改善だ。いつ製造されたのかすら分からない実験用金網（石綿付き？）をセラミック製に、手洗い場に温水が出るようになど。その他、南海トラフに備えて防災関連の整備にも予算を使ってほしいと思う。</p>
145	<p>今よりよりよい吉野川市となるために、こどもが自転車で遊びに行ける距離に、楽しめる遊びに行ける施設（場所）をつくってほしい。また、交通ルールを守り、安心して安全に生活できる吉野川市になってほしい。</p>
146	<p>人が明るく、挨拶をすればいつも返してくれる吉野川市がとても好きだ。その吉野川市をもっとよくするために、交通ルールを守ること、道路や川（洪水）を安全に生活できるよう整備することをしてほしいと思う。</p>

No.	意見
147	<p>生活の中で守るべきルールやマナーが数多くある。その中でも大切だと思うルールは交通ルールだ。車や自転車は、扱い方を間違えると大きな事故を起こしたり、人の命を奪ってしまうものだからだ。また、校則やスマホマナーも大切だ。服装を整える、大きな声で挨拶する、遅刻をしないなどは、社会人になってからも必要なことだ。スマホマナーでは、一度出した情報は消すことができないということ。個人情報や他人への悪口（誹謗中傷）は特に注意が必要だ。私たちの生活は、多くのルールやマナーを守ることによって安全に生活できていると理解できる。大切なルールやマナーを守っていきたい。</p>
148	<p>よりよい吉野川市になるために3つの提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者や外国人に配慮したまちづくり（点字ブロックやスロープ、外国語表示の看板など） ・空気をきれいにするための取組（節電、植林など） ・祭りを増やす（季節的に過ごしやすい春に開催する祭り）
149	<p>現在、学校生活も家で家族と過ごす時間も楽しく大好きで、今の生活に満足しているため、「こんな吉野川市になってほしい」というテーマについては正直よく分からないが、一つだけ変えてほしいことは、学校の体育館にエアコンを設置してほしい。体育館の中はびっくりするくらい暑いいため、厳しい練習ではなく暑さにバテそうだ。</p>
150	<p>交通ルールは自分の命を守る上でとても大切なものだ。少しのルール違反が大きな事故につながることに気をつけ、ルールを守れていない人に呼びかけていきたい。そしてみんなが安全に生活する上で交通ルールが大切なものだと思ってほしい。</p>
151	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県に：糖尿病全国ワースト1位ということから、新駅やホールよりも県民が気軽に利用できる運動施設を増やしてもらいたい。 ・吉野川市に：子どもが遊ぶことのできる公園を増やしてほしい。また、大きな台風が来るたびに冠水するところがあるので、水害に対する整備をしてほしい。 ・国に：税金の用途を明確にしてほしい。過去最高額の税収というのに増税しなければならないのは、用途不明金や無駄遣いがあるのではないかと感じてしまう。また、国会議員の給料や議席については、日当3万円程度だというが、これは民主主義の日本で国民の意思を伝える責任者なら納得できるが、国会中に寝たり、スマホをいじったりする人には多すぎると思う。合わせて、議席数もこんなに必要なのかなと思う。
152	<p>吉野川市はとても住みやすい町だと思う。米や野菜もおいしいし、地域の人みんなやさしく、人の温かみを感じられる町だ。それにもかかわらず住む人が減っているのは、もう少し魅力が必要だということだ。吉野川市には、サッカー場はあるのに野球場はない。鳴門市や徳島市、阿波市の球場に行かなくてはならない。野球場をつくるメリットとして、阿南市を例に考えると、野球場を活用し、野球の町として町おこしをしている。外国や県外チームとの交流もあり、野球をとおしての市の振興のメリットは多くあると思う。スポーツの町として私の好きな吉野川市をもっと多くの人に知ってもらい、ここで子育てをしたいと思う人が増えればいいと思う。</p>

No.	意見
153	<p>身の回りのルールやマナーは、私たちが安全に生活するためにあるものだ。あればいいと思う交通ルールは、歩行者、自転車、自動車それぞれに専用道を作り安全に通行できるようにすること。また、高齢者による事故を防ぐために、運転できる上限の年齢を70～75歳くらいに設定し、免許返納後は公共交通機関を使うこと。そうすることで公共交通機関も利用が増えるという効果も生まれる。</p> <p>こどもまんなか社会を応援するためには、まず自分が何ができるかを考えることが大事だ。そして周囲の人に優しく接することだと思う。</p>
154	<p>こどもや若者を取り巻く社会問題として、虐待、貧困、不登校、ヤングケアラー、引きこもり、家出、路上生活者、心の病気、自殺などがある。これらに強い危機感を持ち、取り組んでもらえるのは同じ若者として嬉しく思う。「こどもまんなか」といつつ、大人が中心となり社会を動かしているという現状へも、しっかりした対策が練られた上での「こどもまんなか」政策だと思うので、「こどもや若者の意見を聴き、こどもや若者にとってよいこととは何かを考え、自分ができるアクションを社会全体で実践していく」この政策の今後の進展が楽しみである。そして、命を落としてしまう子どもや、悩み苦しむ子どもが一人でも減るといいと思う。</p>
155	<p>平和できれいな吉野川市になってほしい。そのために、交通ルールを守り、またゴミのポイ捨てなどをしない人になれるようまず自分から心がけたい。ゴミを拾うボランティア活動にも参加し協力していきたい。</p>
156	<p>「年齢なんてただの数字。子ども扱いしないで。」（あるドラマでの登場人物の言葉）</p> <p>こどもでも、体が小さくても、その子にしか出来ないこと、生まれ持った才能や子ども目線での意見など、大切にすべきことがたくさんあると思う。今の社会は、その才能や意見を放置してしまっている。将来は、その才能や意見を様々なところへ発信できる環境が出来るといいと思う。</p> <p>また、子どもの意見だけではやはり十分ではなく、社会に出てから必要なことをきちんと身につけるためにも、大人の意見も子どもの意見も平等に広げていくことがとても大切だと思う。こどもと大人の意見交換の場をつくり、年代を超えて共感したり、反論したりすることで、話す、聞く、伝えるなどのコミュニケーション能力も身につけることができ、大人も気づき学ぶ機会が得られるのではないだろうか。</p> <p>こどもだから、という理由で大人が決めてしまい、こどもの個性や意見が消されてしまわないよう、こどもに発言と選択する権利を与えることも大切だ。これから生まれるたくさんのこどもが、その考え方や意見を上手に発揮し、また認められる社会、未来になればいいと思う。</p>
159	<p>現在の吉野川市は、道路や水路などにゴミが多く落ちている。ゴミのポイ捨ては法令上の不法投棄にあたる。地域のコンビニや自販機などのゴミ箱が封鎖もしくは撤去されたことにより、ゴミの処分が不便になったことでポイ捨てが増えているとも考えられるが、そのゴミによる景観破壊や健康被害など、ゴミのポイ捨てによる影響は私たちにとって良くないことばかりだ。将来、吉野川市から少しずつでもポイ捨てされるゴミがなくなっていくことを願う。</p>

No.	意見
160	<p>コロナ禍を経て、学校ではパソコンを使った授業が増え、プログラミングなど以前はなかった領域の内容も充実してきている。こどもが自分自身の興味や好奇心に基づき学ぶことにつながっていると思うため、将来的に授業に積極的に最先端技術を取り入れてもらいたい。</p> <p>こどもは、社会の中で最も大切な鍵を持つ存在として、幸せな社会を築く上で、こどもの健やかな成長は不可欠である。大人は、「こどもまんなか社会」のよりよい未来の実現に向けて、これまで以上に私たち「こども」に力を貸してほしい。そして、こどもたちが自分自身の可能性を引き出し、それを否定されることのない、豊かな社会になることを期待する。</p>
161	<p>交通ルールは守るためにある。私たちの命を守るためのものであり、決して軽んじていいものではないが、現在交通ルールを守っていない人がとても多いと思う。自転車のヘルメット未着用、並進、イヤホン装着したままの走行など。また高齢者に関しては、加齢による判断力などの低下は避けられないため、アクセルとブレーキの踏み間違いなどによる事故が多発している。生活する上で車が必要ということは分かるが、こういった事故を防ぐには、一定の年齢以上になれば強制的に免許を失効させる方がいいのではないかと正直感じる。将来的には、自動運転の車が普及すればいいと思う。自分と自分以外の命を守るために、交通ルールを自身が守れているかを今一度確認することが大切だ。</p>
162	<p>自身を振り返ってみて分かることだが、自分が自転車を運転する際、すれ違う人や動物、近所の家の植木や線路上を走る自動車などに気をとられ、運転への注意がおろそかになってしまいがちだ。加えて、運転中は自然と「まあ大丈夫か」と人任せになるものだ。大半はこんな状態での運転でも、事故の一手手前で辛うじて避けられるので、余計に危機感を持たなくなり、この連鎖によって、「大丈夫」と交通ルールを無視した危険な運転をする人が増えてしまうのだと思う。交通事故を防ぐためには、事故に対して決して他人事にならず、自身に起こりうるものだと意識し生活することだ大切だ。</p>
163	<p>私は徳島県が素晴らしい県であることを県外や外国の人に知ってもらいたい。「徳島県は田舎だ」ということはよく耳にする言葉だし否定はしないが、田舎には田舎の良さがあるということ、徳島県の魅力を広く発信していくことが、これから生きる私たちの使命ではないかと思う。これからの社会は、私たちが引っ張っていく。若者やこどもの意見で少しでも何かが変わり、誰もが幸せな生活を送れたらいいと思う。良い面があれば悪い面もある。悪い面を見るのではなく、良い面を引き出して行ければいいと思う。そのためには、色々な人の意見を聴き改善していくことが大切だ。</p>
164	<p>吉野川市には、カーブミラーが不足していると思う。交差点などでは、一時停止し確認すればいいと考えられるが、小さなこどもの場合、確認せずそのまま飛び出す場合もあるため、事故を未然に防ぐためにもカーブミラーの設置を増やしてほしい。</p> <p>また、タバコの喫煙量と交通事故の関連もあるとのことだ。そのため、タバコの喫煙者に事故との関連性と危険性を周知し、摂取量を控えてもらうことも必要だと思う。</p>

No.	意見
165	<p>ルールは、私たちの社会が無秩序となり崩壊することを防ぐためにあるものだ。当然守ることを強いられるが、中には守りたがらない人もいる。例えば、交通ルールの制限速度だ。制限速度の道路標識に至る所で目にするが、これを守っている人は少ない。むしろ守っている人の後続車はイライラしているのではないかと思うほどだ。こういったルール違反者に対しては罰則により反省させるしかない。</p> <p>どんなルールでも自分で有用かどうかを判断して、必要ないと思えば守らなくてもいいなら、自分の判断が常に正しいときにしか正しくない。そして「自分の判断は絶対に正しい」などと思い込んでいる人の判断が正しいはずがないと思う。つまり、ルールは各自の判断で守ったり破ったりしていいものではないし、「どんな状況でも絶対に守れ」と人の行動を制限するからには、それ相応の理由があると思う。そのため、今ある様々なルールはこれからも私たちの生活に必要なものなのだと思う。</p>
166	<p>今現在、身の回りのルール（校則や交通ルールなど）は全て大人が決めているものだ。「校則を見直そう」という取組の中で、私たちは班員と話し合い、多くの意見が出されたが、その意見は職員会議で検討し、最終的に先生たちが決定するとのことだ。私は、先生だけで話し合うのではなく、その場に生徒会役員も入り、生徒代表として一緒に話し合っ決めていく方がいいと思う。</p> <p>また、いじめや間違った偏見をなくしていくことについて、LGBTQの方々への間違った偏見を大人から教えられてしまうこともあるため、鵜呑みにするのではなく、本当に正しいのかを疑い、自分の心の中から差別心をなくしていけるよう努力していきたいと思う。</p>
167	<p>日々の生活の中で守らなければならないルールやマナーはたくさんある。ルールには必ず理由があり、守らない人がいると、誰もが加害者・被害者になってしまう。全ての人々が加害者や被害者にならない吉野川市、安全に楽しく暮らすことの出来る吉野川市にしていきたい。一人ひとりがルールやマナーを正しく理解し、守っていくことが必要だ。</p>
168	<p>私たちの生活は多くのルールやマナーによって保たれている。公共交通機関を利用しているとき、友達と騒いではいけないとか、優先席に座るべき人がいたら座席を譲るとか。これらマナーもルールの一つだと思う。全ての人々がルールを守ることができれば、もめ事は起きない。学校や日常生活のルールを一つ一つ心がけて守っていききたいと思う。</p>
169	<p>「こどもだから」という言葉は嫌いだ。「こどもだから」という理由で、こどもの意見に耳を傾かない、または聞き流されたり否定される経験をしたこどもは多いと思う。私自身も、過去に家族から否定された経験から、自分の意見を相手に伝えることに苦手意識を持ち、物事を我慢するようになった。「こどもまんなか社会」の実現のため、自分にできることを二つ。</p> <p>一つは、自分の意見をしっかり言うこと。自分の意見を言わなければ何も変わらない。そして二つ目は、相手の意見をよく聴くこと。みんなが生活しやすい環境にするためには、真剣に聴き考えることが大切だと思う。そのために相手が意見を言いやすい空気をつくることも必要だ。自分が大人になったとき、「こどもだから」という言葉が嫌いだったことを忘れず実践していきたい。</p>
169	<p>学校の校則を、学校に勤める大人（先生）が守っていないことは不思議に思う。学校は、社会に出るための準備として社会のルールを学ぶ場であり、社会に繋がる場だ。校則も社会のルールだと思う。それなのに、そこで仕事をする先生が校則というルールを守らないのはおかしいと思う。ルールを守っていない人が「守れ」と言っても一切説得力がない。理由を尋ねると「大人はいい」とか「こどもだから仕方ない」と口をそろえて言う。その考え方は理不尽だと思うし、そういう考え方はなくなればいいと思う。</p>

No.	意見
170	<p>吉野川市に子どもだけで遊びに行ける施設をつくってほしい。ゲームセンターや体を動かすことの出来る公園（アスレチックなど）があれば、市外に出かける必要なく近場で友達と遊ぶことができる。また、市民プラザ内の図書館の自習スペースをもっと増やしてほしい。少しでも集中できるところで勉強したいと思い、利用しようとしてもいつも席が埋まっているので利用できない。もっとスペースを広くしてもらえたら、図書館を利用する人が増えると思う。</p>
171	<p>消費税を含めて税金の負担が大きい。最近の物価高騰と併せて、お菓子やジュースを買うときに非常に負担を感じる。税金で救急車や病院などの医療が運営されていることは分かるが、現在の国民のためには負担が低い方がいいと思う。自転車や高齢者の運転など、交通マナーをきちんと守る市になってほしい。中学校も、義務教育だからとかいう理由でスマホを持ってくることを禁止するのはおかしいと思う。高校のように持ち込みをできるようにしてほしい。</p>
172	<p>いじめの起きない、起こりにくい社会を創るためには、まず子どもが過度のストレスを抱えない環境を作る必要がある。具体的には、第一に家庭環境の改善だ。親からきちんとしたしつけも受けず、また十分な愛情を注いでもらえなかった子どもは、ストレスを抱え他人をいじめるようになる。学校による家庭環境の調査を行い、外部機関と連携して対処していくことが重要だ。また、子どもがストレスを感じる原因に、学校での勉強や人間関係がある。分かりやすい授業をすることはもちろんであり、テストの結果が全てではないということをごどもや保護者に伝えることが大切だ。人間関係では、教師は生徒の人間関係を把握し、問題が起きた際には介入することも必要だと思う。そして、これらに対応するため、学校関係職員の見直しを行うことが重要だと考える。</p> <p>自分自身ができることとして、いじめの傍観者にならないよう、生徒間の悪口や暴力を教師に報告することにより、いじめへの対応がスムーズに行えると思う。いじめは、した側もされた側も深く傷ついてしまう。全ての子どもが健やかに成長することのできる、子どもまんなか社会の実現のために、個人や社会全体でいじめを起こさせない環境を作っていくことが必要だと考える。</p>
173	<p>自分の好きな日本の地元吉野川市がもっと発展してほしい。そのための意見を3つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい公園やスポーツのできる場所を増やす。公園は、自然に触れたり、リラックスしたり、地域の人と交流できる機会となるなど、生活の質を向上させるものだと考える。 ・大型ショッピングモールを作る。市外にあるショッピングモールに行くには、移動だけでたくさんのお金が必要だ。大型ショッピングモールは、地域に多様なショッピング体験提供し、地域経済にもプラスの影響を与えると思う。 ・友達と参加できるイベントを増やして欲しい。花火大会のように「〇〇大会」や、ものづくり「〇〇づくり体験」など。イベントの開催は、地域の活性化やコミュニティの結束を促進することができると思う。 <p>以上の3つのことを実施することにより、住民が心地よく生活する環境を整え、地域の絆を深め、地域の人々が協力し支え合うコミュニティを築くことが可能となると思う。</p>

No.	意見
174	<p>陸上大会に出場する日、父親の車で会場（鳴門ポカリスエットスタジアム）に向かう途中でユニフォームを忘れたことに気づき、慌てて来た道を引き返してユニフォームを取りに帰ったことがあった。そのとき、父親に自分で車で走ってみると叱られたことで、初めて鳴門駅行きの汽車が1時間に1本しかないことを知った。仕方なく家の最寄り駅から徳島駅まで行き、鳴門行き発車時間まで1時間近くの待ち時間を、ユニフォームにゼッケンを付けながら待っていたが、そろそろ時間かという頃になって「現在、鳴門行き〇〇は人身事故により運転を見合わせています」というアナウンスが流れた。このままでは大会に遅れてしまうと慌てた私は、急いでスタジアムの近くで降りられるバスを探し、無事バスに乗って20分間、鳴門市役所北のバス停で降り、そこからスタジアムまでの1,600メートルを全力でダッシュし、自分の出場する1,500メートル競技のコール5分前に着くことができた。競技結果は過去最悪のタイムだったが、一人で汽車とバスに乗り、バス停から1,600メートルをダッシュし、自分の出場する競技に間に合った達成感の方がとても大きかった。</p> <p>ユニフォームを忘れたことはいいことではないが、吉野川市や徳島のことを多く知るきっかけとなった。JRの便数を増やすことはとても難しいだろう。しかし、やはり1時間に1本は少ないと思う。30分に1本はあればと思う。環境のことを考えても汽車よりは電車のほうがいいのではとも感じた。この一日を通して、徳島県の色々な課題や問題点が見つかり、自分事ではあるがよかったと思った。</p>
175	<p>理想の吉野川市にするために欲しいもの。自転車で友達と行ける大型ショッピングモール。今はお小遣いがJRやバス代に消えてしまい、欲しいものや遊びに使えない。大型プール施設、昔あった遊園地、ウォータースライダー、流れるプール、吉野川市全体が見渡せるような大観覧車、県外他施設に負けないようなジェットコースター、お化け屋敷、小さなこどもが遊べるコーヒーカップやメリーゴーランドなどがあれば、多くの集客が見込めると思う。最後に、色々なスポーツができる施設。友達や家族と遊べて、毎月イベントがあり地域が盛り上がるような施設だとよい。自分の理想の吉野川市は今と全く違うが、いつか実現すればいいと思う。</p>
176	<p>安心安全に暮らせる吉野川市になってほしい。通学路は道幅が狭く、交通量が多いため、油断すると自動車にぶつかってしまう。また、外灯がないため部活の後帰宅時は暗く危険だ。また、道路の舗装がガタガタになっているため、転んだりタイヤがパンクしそうになる。安全に通学できる道路整備をしてほしい。</p> <p>次に、学校の通信環境を改善し、パソコンやタブレットがフリーズせずに使えるようにしてほしい。教科書をデジタル教科書にすればペーパーレス化となり、重い教科書を持ち運ぶこともなくなる。吉野川市が豊かで、持続可能な社会になるためには、プラごみの削減や二酸化炭素削減などにも積極的に取り組み、またその取組を周知することが必要だ。学校でのボランティア活動に積極的に取り組むなど、一人ひとりの意識が変わること、意識を持つことで、安心安全な社会、吉野川市を、数十年後に作るができると思う。</p>
177	<p>私の考える理想の国。互いを大切にし、助け合い、みんなが笑顔で暮らせる国。全てのこどもが無償で教育を受けることができ、また個々の能力を最大限に伸ばすための支援が行き届いており、創造力を伸ばす学びや自分の興味に合わせた学びができる国。高齢者や障がいを持つ人々に対して思いやりがあり、また治安が良く犯罪が少ない、誰もが安心して住むことができる国。再生可能エネルギーの利用が普及しており、自然環境を守る意識が高い国。多様な文化が共存し、異なる背景を持つ人々が互いを尊重し、誇りを持って伝統文化を受け継いでいる国。理想の国に近づくことができるよう、一歩ずつ、毎日の小さな積み重ねを大切にしていきたい。</p>

No.	意見
178	<p>徳島県は、全国でも知名度が低く、同時に魅力度もワースト10位程度である。まだワースト1位のほうが、ネタになることで順位が上がることもある。以前耳にしていたVS東京ではないが、いきなり首都と同じようにできるはずもないのは当然だが、何かそれに匹敵するものを目指すことは必要だと思う。そのためにも交通網の整備・強化、徳島ならではの伝統文化、食文化を広く周知することは重要だ。</p>
179	<p>現在こどもの出生率が低下し、田舎の徳島県や吉野川市は、それがより顕著なのではないかと思う。徳島県で育っても、都会に仕事で出て行ってしまふ人が多いと聞く。自分は、住み慣れた田舎の雰囲気が好きなので、将来も徳島県で、もっと言えば吉野川市で生活していきたいと考えているが、こどもが少ないことで不利なこともたくさんあると思う。できる部活が限られてしまう、働きたい職場や職種が少ないなど。「こどもまんなか社会」というからには、今その地域で住んでいるこどもたちが、その地域で活躍していけることが理想だ。そのためには、都会に負けないような学びの場やスポーツができる環境があればいいと思う。そしてまた、田舎ならではの農業は、人気がなく携わる人が減っているが、私たちの生活に欠かせない仕事なので、こどもから見てやりたいと思えるものに発展させていくことが必要だと思う。こどもまんなか社会として、こどものことを考えてくれるのなら、自分たちがこどもを産み育てていきたいと思える地域社会を作るのが一番だ。こどもよりお年寄りが多い町だが、その分、おじいちゃんやおばあちゃんに大切にされ育てられていると感じる。私たちこどもが、地域に貢献していけるような未来になるといいと思う。</p>
180	<p>平和な世界になって欲しい。小学生の頃の出来事で、あれはいじめられたのかなと思うことがある。そのときはものすごく腹が立ったし、今でもよく覚えている。現在も、ちょっと避けられてるかなと感じることがあったら悲しい気持ちになるが、暴力（に訴えること）は絶対にしてはいけないことだ。人を痛めつけたり殺したり爆弾を空から落としたりする戦争もまた、いじめだと思う。差別もそうだ。いじめのせいで自殺する人がいるが、これからまだやりたいことや人生があるのに、死ななければならないのは一番苦しいと思う。だから、いじめや差別、戦争で人を苦しめるのは全体に許さない。人を責める（攻める）のはやめよう。犯罪にもなり得るいじめは絶対にしてはいけないということ。こども同士、友だち同士、みんなが仲良く平和な世界になってほしい。</p>
181	<p>昔に比べて、現代は直接人と関わる機会が少なくなっている。産直のものを地域の直売所などで購入する場合、おすすめの商品や食べ方を教えてもらうなど人と触れあう機会があるが、スーパーやコンビニの増加、インターネット販売の普及により、言葉を交わさなくても買い物が進められる時代である。私は、このまま、人と人とのつながりが深いという吉野川市の良さが失われていくことのないよう、地域の慣習や伝統文化を大切にしていきたいと思う。祭り等伝統行事をとおして、地元の特徴を知り、また興味を持つ人が増え、文化を身近に感じるとともに、地域の人々の輪が広がっていくと思う。私は以前、普段関わりのなかった人と、祭りに参加したことで言葉を交わすようになったことがある。つながりができたように感じ、とても嬉しかった。地域の文化は20年後もそれ以降もずっと大切に残してほしい。そのために、私たちは地域で行われる活動に積極的に参加し、そこでの人との関わりを大切にしていきたい。そして、20年後もその先も、吉野川市が人との関わりを大切に温かい町であってほしい。</p>

No.	意見
182	<p>生活の中には様々なルールがある。その中でも一番身近なものが交通ルールだ。交通ルールは自分の身を守るだけでなく、他人に怪我をさせないように守るものでもある。まずは自分や自分の周囲からルールを守り、交通事故を起こさないようにしていきたい。こどもまんなか応援サポーターとして、日常生活のなかのルールやマナーを守ったり、自分から挨拶をしたり、また私たちの安全を見守ってくれるスクールガードさんに感謝していきたい。</p>
183	<p>こどもまんなか社会と聞いて、まず一番に思い浮かんだのは、こどもの笑顔だ。こどもの笑顔は周りを自然に笑顔にするとする。こどもが笑顔でいられる吉野川市にするために必要だと思うことは次の二つだ。一つ目は、こどもが発言できる場を作ること、こどもに意見を求めることだ。最近、母親が保護を求めなかったことにより、こどもが保護されず虐待により亡くなってしまったというニュースを観た。虐待されるこどもが意見を発するのは難しいと思う。しかし、本来なら虐待されているこどもの言葉を聞くべきだ。二つ目は、こどもの遊び場としての公園を作ることだ。友だちと体を使って遊ぶことで、スマートフォン依存を減らすことが必要だ。</p>
184	<p>休日に友だちとあまり遊ぶことがない理由の一つに、遊べるところがない（飲食店くらいしかない）ということがある。また、家族と出かけるのも徳島市内など市外の施設に遊びに行くのも同じ理由だ。もっと吉野川市内の色々なところに公園やフリースペースなどを作って欲しいと思う。人が集まれば、自然と地域の人や他校の人と交流が深まると思う。少しでも吉野川市や徳島県が発展するよう、自分の意見が市や県に届けばいいと思う。</p>
185	<p>最近交通ルールを軽視した人をよく見かける。車や自転車の信号無視や道路の逆走などはもちろんだが、小学生のノーヘルや両手をハンドルから離れた手放し運転（かなりのスピードで）もあり、これらは明らかに安全だとは言いがたい。また、他人に迷惑をかけることとして、道路等へのゴミのポイ捨ても目立つ。自分の食べた食品の空き袋、空きカップや食べ残しなどが捨てられている。誰もが過ごしやすい吉野川市にするためには、交通ルールを再確認し安全に生活できるようにすること、そして町をきれいに保つために、マナーを守りゴミのポイ捨て無くすことが必要だと思う。</p>
186	<p>交通ルールやマナーは、皆が安全に楽しく過ごせるためのルールであるのに、分かっているけど守れない人が多いのはなぜだろうと思う。命の大切さを知ることによって交通ルールを守れるようになる。またゴミを捨てにくくなるよう清掃ボランティアなどに取り組み、町をもっとピカピカな状態にすることでポイ捨てを無くしていく。皆の笑顔が増えるよう、きまりやルールをしっかり守っていきたい。</p>
187	<p>外国人観光客向けのSNS発信や施設整備をおこない、吉野川市に賑わいをつくってはどうかと思う。肉のテーマパークなどは面白いと思う。日本の肉料理は海外でも人気があるので、色々な肉料理が楽しめるのがいいだろう。またアジア各国をテーマにした店（台湾や韓国などの人気コスメやグッズ）、写真映えるおしゃれな空間、着物やアニメグッズ、食品サンプル、お土産用のお菓子類など。日本人も楽しめると思う。</p>

No.	意見
188	<p>中学校に入学してから、校則について疑問に感じることが多い。その中でも髪型に関する校則は必要なのか疑問だ。人によって似合う髪型は違うし、個性が表れる部分について指定することは本当に必要なのか。指定がなくなった学校を想像してみた。見た目への決めつけや偏見が少しずつなくなっていき、一人ひとりの個性を尊重しあえるようになるのではないだろうか。一つ一つの校則を見なおし、本当に必要な校則だけにすることで、こどもの学校生活が変わり、楽しく幸せになる社会に繋がって行くのではないかなと思う。まずは、校則を見なおすことで学校生活を楽しいものにし、いじめや差別も減らしていけるようみんなで考えていきたい。</p>
189	<p>吉野川市が誰しも住みやすく楽しい市にするために必要なもの二つ。一つ目は、不登校のこどもが気軽に通える施設を増やすこと。学校での人間関係や家庭の事情など、複雑な事情を抱えて不登校になっているこどもが、将来きちんと生活していけるよう、勉強を教えてもらったり相談にのってもらったりできる施設をたくさん作って欲しい。二つ目は、放課後や休日に親が仕事で不在になるとき、こどもを安心して預けられる施設を作ることだ。こどもだけを家に残すのは不安だと思っても、高額な費用を払わなければならないために預けられない人がいると思う。安価に安心して預けることができ、勉強を教えてもらえたり成長できる施設が必要だ。この二つの施設が十分にあれば、吉野川市は誰もが楽しく住みやすい町になると思う。</p>
190	<p>今の吉野川市に足りないもの、必要なもの。小中学生が遊ぶことのできる場所が全くない。また勉強できるスペースが圧倒的に足りない。市民プラザの図書館の自習スペースは、休日は大人で埋まっており、小学生や中学生が使えない。こどもが遊んだり、勉強したりできる場所をもっと多くつくってほしい。そのことが未来の吉野川市を創ることになると思う。</p>
191	<p>「学校」について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりを大切にできているのか。様々な個性を持った人がいるので、その人にあった接し方をする必要があると思う。 ・誰もが同じように勉強できているのか。学校を欠席した場合に、その授業を受けることができない。また同じ授業を受けても内容を理解できる人と、十分理解できていない人がいる。放課後などに少しの時間でも教えてあげることで、皆が同じように勉強できるということに近づくとと思う。 ・生徒全員が安心して学校生活を送れているのか。私の学校では、毎月いじめアンケートが行われている。アンケートをすることで、いじめを最小限にできると思う。いじめや差別がなくし、みんなが安心して学校生活を楽しめるような対策は必要だ。 <p>学校をよりよく快適にするため、大人もこどもも一緒に頑張っていけたらいいと思う。</p>
192	<p>「まちづくり」について必要なことは、まず自分の町について知り、考えることだと思う。そして、難しく考えず、身近な地域の祭りや行事などに参加し、中学生でも手伝えることをしてみる。次に、一緒にする仲間を見つけること。一人でするよりも、仲間と協力してすることで皆の理想の町に近づけるのではないかなと思う。何より大切なのは、どんな吉野川市にしたいかという意見を持つことだ。まちづくりは、専門家や市がやるものというイメージを持っている人が多いが、自分たちの地域を自分たちの手で作り、守り、より良くしていくという思いが「まちづくり」に繋がっていくのだと思う。私なりのまちづくりを始めていきたい。</p>

No.	意見
193	<p>犬を飼い始めて気づいたことが二つある。散歩をすると、道路に持ち帰られていない犬の糞がたくさん落ちていること。二つ目は、吉野川市には犬と遊べる場所がないということ。どの公園も、犬と散歩はできても、一緒に走ったり、リードを外して自由に走り回らせることはできない。吉野川市に、犬と思い切り触れあえる大きな公園があればいいと思う。みんなが安全に散歩ができる散歩コースやドッグラン、遊具、休憩スペースなどがあり、小さなこどもからお年寄りまでと一緒に過ごせる場所になるといい。公園ができることで、よくなることはたくさんあると思う。まず、多くの人と交流することが可能だ。散歩の際にすれ違うだけだった人と話したり、一緒に遊んだりできるかもしれない。また、公園であれば、道路よりも糞やゴミの処理を看板などで呼びかけやすい（町がきれいになる）。そして何より、家から外へ出る人が多くなると思う。友だちや近所の人、公園で知り合った人と遊んだり、話したりできる公園に行きたくなるだろう。照明で明るくすれば、夜間や早朝も誰もが安心安全に散歩ができる。吉野川市がもっと住みやすく、多くの人に住みたいと思われる町になるように、私たちがもっと考えていきたいと思う。</p>
194	<p>今、吉野川市の学生は、プリクラ一つ撮りたいと思っても市外の大型ショッピングモールに行かなければならない。JR代やバス代にお金がかかるだけでなく、時間もかかってしまう。吉野川市内に学生が楽しめる施設ができれば、吉野川市内はもちろん周辺地域の学生も喜ぶと思う。また、交通ルールを守れない車や自転車を多く見かける。交通ルールを守り、安心して生活できるよう呼びかけるための標語やポスターを募集し掲示すると思う。吉野川市は多くの課題を抱えているが、一つでも多く解決できたら、今以上に素敵で暮らしやすい魅力的な吉野川市になると思う。</p>
195	<p>こどもまんなか社会に私が願うのは、していいことと、してはいけないことの分別がつく年齢になった中学生の私たちをもっと信頼してほしいということだ。そして、私たちの意見に耳を傾け、今の時代にあったルール（校則）に見直して欲しい。例えば、校外活動でのスマートフォンの禁止。また髪型の指定のきまり。染髪やパーマがダメなことはもちろん分かっている。しかし、髪型もその人の個性であるのに、全面的に否定し、禁止するのは「個性を大事に」という今の時代には合っていないと思う。自分のコンプレックスを克服するために工夫すること、自分らしさを表現することがなぜ禁止なのか。多様性を大切にす時代、一人ひとりの個性を尊重しなさいと教育される一方で、個性を殺す校則があるのは疑問だ。スマートフォンの使用に関しても、遊びに使用するのがいけないことは分かっている。しかし、どうしても親に連絡をとらなければならないこともあるため、もう少し私たちに信頼して欲しいと思う。</p> <p>ただ、私たちは分別がつくようになったといってもまだまだ未熟だ。そのため、校則に守られながらも、できるだけ自由な発想や考えを持てる環境が必要だ。私たちが疑問に思ったことを、真剣に聞いてくれる吉野川市の大人であって欲しいと願う。</p>
196	<p>私が住む町にはスーパーやドラッグストア、飲食店はかなりたくさんある。一見便利な町だが、利用しているのは主に大人であり、こどもだけで利用することはほとんどない。こどもは市外にJRを利用して遊びに行くしかなく、お小遣いからたくさんの切符代を払わなければならない。吉野川市にも中学生が楽しめる場所を作って、大人だけでなく子どもにとっても充実した町にしてほしい。住みやすい町にするためには、自分たちも変わらなければならない。交通ルールへの意識や、高齢者、障がい者などへの気配りを持つことだ。困っている人を見かけたら自分ができることを行い、吉野川市をもっとよりよくすることができると思う。</p>

No.	意見
197	<p>私は、戦争やいじめのない国にしたい。</p> <p>国の代表が喧嘩をして、なぜ一般の罪のない人たちが、たくさん巻き込まれて亡くならなければならないのか分からない。自分自身を守ることはもちろん、家族や友人、その他の多くの人を助けられる優しい人になりたいと思う。</p> <p>コロナが広がった当初、感染した人に対して傷つけるような態度や言葉をとる人が多くいた。私自身、人に流されやすいので、そんなとき友だちと一緒に嫌な顔をしたりしていたが、自分が感染したとき、不安な気持ちで学校へ行ったら「待とったよ」と言ってもらいとても嬉しかった。そして過去の自分を反省した。いじめられた人には、いじめられたと感じる理由があるはずだし、いじめた人にも何か理由があるはずだ。双方の理由をよく聞き、また先生にも相談して、解決できるよう最後まで自分にできることをやりきり、一人でも多くの人を助けられるようになりたい。</p>
198	<p>まず、子どもが泣くのは嫌だなと思った。そして、子どもが泣く一番の理由やつらいことは何かを考えると、それは「ひとりぼっち」だと思う。ひとりぼっちだと、いじめられても相談できる相手がない。どうすればひとりぼっちの子どもを減らせるのか。学校でいじめのアンケートはあるが、正直に答えられるとは限らないし、ひとりでいる子が、本当に一人が好きなのか、それとも話しかけられず困っているのかを区別することも難しいと思う。そのため、少しでも気になったり、疑問に感じたら見逃さず、話しかけて話を聞いてみて「ひとりぼっち」を減らしていきたいと思う。</p>
199	<p>吉野川市の3つの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点字ブロックなどのバリアフリー整備が十分なされていない。 ・道路の整備状況に差がある。国道はきれいに舗装されているが、それ以外の道路は路面に凹凸でこぼこがあるなど、安全に走行できない。 ・子どもが遊べる公園などが少ない。 <p>お年寄りや障がいのある人に寄り添い、その意見を聴くことによって、吉野川市の変わらなければならないところを探すことが人口を増やすことに繋がっていくと思う。誰もが住みやすい、住みたいと思える町や市にするためには、むしろ子どもを真ん中に据えるよりも必要なことだと思う。点字ブロックの上に自転車を置かない、重い荷物を持っている人がいたら助ける、道を訊ねられたら無視せず教えてあげるなどが大切なルールやマナーだと思うからだ。よりよい町や市にするために、誰もが生活しやすい環境を作ること。誰もがつらい思いをせず皆が平等に暮らしていけるよう、様々な課題と向き合っていくことがとても大切だと思う。</p>
200	<p>生活の中のルールがなぜ必要なのか考えてみた。法律や規則が全くない社会を想像してみると、犯罪や争い、戦争などが今よりもっと多く起こることが想像できる。平和を継続し、安全に暮らせる社会を維持するために法律や規則は必要だ。次に、それを校則に置き換えて考えてみると、校則の一部には本当に必要なものがある。髪型の指定の校則だ。全国の公立中・高の多くに髪型の厳しいきまりがあるそうだが、その起源(理由)ははっきり分からないらしい。この校則の目的は「進学や就職活動で不利にならないため」ということだ。進学先や就職先である企業が、外見や見た目でマイナス評価するのであれば、それは不当な差別をしている可能性があるということになってしまう。やはり、本当にこの髪型の校則は必要なのか疑問に思う。</p>

No.	意見
201	<p>最近は若い人向けのイベントが多く開催されているように思うが、もう少し幅広い年代の人が楽しめるものが必要だと感じる。そして、イベントではなく、幅広い年代の人と触れあえる「場」を作る方がいい。高齢の人でもできるトランプやカルタなどをしたり、今はこんな遊びがあるよと伝えられるような遊びを通じ、触れあえる場だ。そして誰もが行きやすいところに作るなど、高齢者にフォーカスした工夫や取組が必要になってくると思う。</p>
202	<p>「こどもまんなか社会」の実現に向け、こどもの行動を制限し過ぎず、自然や他者と触れあいながら、なるべく自由に行動できる吉野川市になってほしい。自由といっても、人として大切なことや、身を守るための教育は必要だ。しかし、本来制限すべきでないことまで制限して、こどもの経験を奪うことはあってはならない。そのため、こどもがより自分のしたいことがしやすくなる環境づくりは必要だ。例えば、日暮れ時刻が早くなる冬、少し暗くても行動せざるを得ない場合などに、細い道や曲がり角などに外灯を設置することで、少し暗くても安全に行動することができる。また、吉野川市にたくさんある自然（森林や小川）は遊びに入れたらいいと思うが、道路沿いすら整備がなされておらず、害虫、倒木、捨てられたガラス片などがあり大変危険だ。自然に触れあい安全に遊べるよう、森林の整備をしてほしい。そして最後に、学校の校則にある制服の指定も変えてほしい。今は、性別によって着用する種類が決まっているが、学校ごとに色と種類さえ決まっていれば、個人の判断で好きなものを着用できるようにしてもいいと思う。</p>
203	<p>市町村によって異なる子育て支援の施策が、どこに住んでも同じサービスが受けられるようになると思う。また、日本は小学校中学校は義務教育でほとんど費用がかからないが、公立については、高校や大学も北欧諸国のように授業料が無料になっていけば、勉強する機会が平等になり良いと思う。子ども時代の経験は、一生の宝になるといわれる。徳島県は自然は豊かだが、美術館や博物館などは少ないため、もっと身近な県内、市内で展覧会や音楽会が体験できる機会が増えれば、興味を持つことができる良い経験になる。</p> <p>そこに住むこどもが幸せだと、その親世代や祖父母世代も幸せだと思える環境につながっていく。こどもが住みやすい町は、みんなが住みやすい町だと思う。</p>
204	<p>自分が吉野川市で一番偉い人になったら、どんな市にしたいか考えた。まずは、アトラクション（ジェットコースター、観覧車、コーヒーカップ、メリーゴーランドなど）を作り、県内外から多くの人を訪れる「吉野川アイランド」を開園する。次に祭りを増やすこと。祭りは夏に開催されることが多いが、冬や秋にも開催する。3つめは、大型ショッピングモールを作り、買い物の不便を解消する。4つめは、鳴門のUZUPARKのような自由に使えるバスケットボール施設を作る。幅広い年代に対応し、コンビニエンスストアも周辺にあると便利だ。最後に、ここまでいろいろ理想を書いたが、やはり、吉野川市はいじめのないところにしたい。結局はこれが一番だと思った。</p>

No.	意見
205	<p>部活動（野球）が休みの日、父や叔母と自主練をする場所が小学校のグラウンドしかない。弟はスケートボードをしているが、練習する場所がないため家の周辺の道路や駐車場であり、休みの日に家族と鳴門にある練習施設まで行かなくてはならない。吉野川市内に、アリーナや上桜のグラウンドのような施設がもっともっと増えると、色々なスポーツをすることもとっても嬉しいことだと思う。吉野川中央橋の下は、以前はきれいなグラウンドでサッカーの試合などをよくしていたらしいが、今は整備されておらず野球の練習場にも使えない。徳島市内の河川敷は、サッカー、野球、ラグビーなどをしている人や両親と遊ぶ小さな子どもたちの姿が見える。吉野川市もせっかく広い場所があるのだから、小さい子どもが遊べる公園や、スポーツに自由に使える場所に整備してほしい。</p> <p>また、休日の練習や試合に来てくれている部活動の顧問の先生について、県外の学校のように外部コーチに休日の練習や試合を手伝ってもらえば、先生が休日は休めるようになり負担を減らせると思う。先生にも家族がおり、家族は先生と休みを一緒に過ごしたいと思っているだろう。ぜひ吉野川市も取り入れてほしい。</p>
206	<p>安心安全な吉野川市になってほしい。夏休みに子どもだけで川へ遊びに行き、そのうちの一人が溺れて亡くなったというニュースをみた。そのとき一緒に遊んでいた子は、友だちが溺れるのを見ていることしかできず、泣き崩れていたとあった。目の前で友だちが溺れている、でも助けられない、こんなに悲しいことはない。気を引き締めて生活しなければならないと感じた。また、交通ルールを守れていない人もとても多いと思う。交通ルールを皆がしっかり守ることで、多くの人の命を守ることができるかもしれない。一人ひとりが協力すれば交通事故ゼロも夢じゃない。ルールをもう一度見なおし、今の生活を振り返って欲しいと思う。</p>
207	<p>ルール（法律）について思うこと。放送法64条は、テレビを設置するだけで、NHKを観る観ないの本人の意思に関わらず、受信の契約が成立しNHKの受信料を支払わなければならないというもの。これまでの多くの裁判でも、国民の契約の自由を制限する法律として問題になっている。この法律ができたのは戦後間もない昭和25年、それから70年たち、現在の状況は当時と全く異なるのに法律は改正されずNHKは年間7,000億円の受信料を売り上げている。時代遅れといえるこの法律は、国民の契約の自由を制限してまで必要なのか疑問である。</p>
208	<p>私が赤ちゃんの頃から過ごしている吉野川市は、これからも楽しく過ごしていく場所だ。だからこそ平和であって欲しいと思う。争いや犯罪が完全になくなるとは思わないが、少なくとも一人ひとりの意識の持ち方でできるだけ平和にすることは可能だと思う。そのために自分が何をすればよいか。もちろん犯罪者を捕まえることはできない。簡単にすぐ実行可能なことを考えたとき、あたりまえのことをあたりまえにしようと思った。例えば、ポイ捨てをしないこと。早めに帰宅するようにし、早寝することで体調を整えること。こんな小さなことでも、友だちに広げれば、皆が元気に明るく生活できるようになる。そうやって皆が明るくなれば、市全体が明るくなると思う。人口の数だけ性格があり、争いを好む人もいるかもしれない。実現は難しいかも知れないが、できないわけではない。一人ずつが意識するだけだ。そうするだけで私たちは平和に過ごせると思う。皆の一人ひとりがその可能性を持っているということだ。</p>

No.	意見
209	<p>こどもたちの給食について考えてみた。学校で給食を食べるとき、こどもたちがみんなで楽しく食べるのが理想だと思う。そして次に、健康になれるよう、バランスよく、病気になりにくい給食を作ること。また、併せてコストを安く抑えることも必要だ。給食の質が高くても、コストが高いと保護者や税金の負担が大きくなるからだ。日本のこどもたちの給食について、給食の技術が変われば、より質、コストともに良いものになるのではないかと考える。そのために、こどもまんなか社会の一員として、私たちこどもの一人ひとりが現在の給食について考えてみるといいのではないかなと思う。</p>
210	<p>登校時に見かけるのはおじいさんやおばあさん。下校時も同じ。少子高齢化ってこれやなと感じる。自分の家の前には公園があるが、その公園をいつもきれいに掃除してくれている素晴らしいひとがいる。それはうちの祖父だ。私も店の前や学校にごみが落ちていたら拾うようにしている。みんなの市なのでみんなできれいにしていきたい。これは本当にみんなにしてもらいたい。私も拾うかどうか迷うときもあるが、拾った方が気持ちがいい。また、吉野川市は田舎で、むかし有ったような遊園地などの遊び場もなく、楽しいことも少ないかもしれないが、自分たちができる最大限のことをしていきたい（してほしい）。お年寄りや身体の不自由な人、困っている人に手を差し伸べたり、ゴミもみんなで拾う習慣をつくる。最初の少子高齢化（問題）は、今の自分にはできないことがないので、目の前に転がっている「今自分たちができること」があるなら、ちゃんとやっていきたい。誰もが「ここに居って幸せ〜」となる吉野川市にしたいと思う（あわべんちょっと大事にしたい隊）。</p>
211	<p>みんなが安心して暮らせるためには、一人ひとりがルールやマナーをしっかりと守ることがとても大切だ。また年齢関係なく仲の良い町であること。私は、部活帰りに疲れて帰宅しているとき、近所の人たちから「おかえり」と声をかけてもらおうと、それまでの疲労感が嘘のようにすっきりした気持ちになる。気持ちの良い挨拶をすることが、とても大切だということに気づくことができた。</p> <p>私が「こどもまんなか応援サポーター」として実践していきたいことを3つ。①公共交通機関の乗降時にベビーカーを優先すること。乗降時の混雑を避けるために先に乗降してもらおうのほうがいいと思う。②店舗に子ども連れ優先席をつくること。なかなか座れず泣いている子どもをみかけるので、優先席を作ることによってみんなが落ち着いて食事をとったり買い物をすることができる。③荷物を持った子ども連れの介助をすること。荷物を運んであげたり、ドアを開けてあげたりすることで、親の負担を軽減することができ、子どもにも目を配ることができると思う。私は、誰もが暮らしやすい吉野川市にするために、困っている人に早く気づき、寄り添うことのできる人になりたい。</p>
212	<p>みんなが交通ルールを守り、安心して登下校できる吉野川市になってほしい。青信号にもかかわらず歩行者信号が点滅するまで車が止まってくれなかったり、ながら運転の車に前方不注意で追突されたりしたことがあるからだ。そのためには、まず自分が気をつけること。左右確認を必ずする、ながら運転をしない、余裕を持って行動するなど。自分のこれまでの行動も振り返って、これからは必ず守るようにしたい。</p>

No.	意見
213	<p>みんなが幸せで元気に暮らせる吉野川市になってほしい。笑顔の輪を広げていきたいと思う。また、全ての人が苦しまず、等しく教育を受け勉強できるようになればいいと思う。</p> <p>私の考えるこどもまんなか社会の未来像は、こどもが好きなことを好きと言える社会だ。自己主張が苦手な子や友達に合わせてしまって自分の意見が言えない子もいる。みんなが自分の意見を話すことができ、様々な意見が共存できる社会になってほしい。また、全てのこどもが等しく自由にインターネットを使える社会になってほしい。自分専用のスマホやタブレットを持っている友だちもいるが、私自身は持っていない。吉野川市は今後ますます便利になっていくと思うが、同時にこういった差も広がってしまうのではないかと。便利な子と不便な子の差は減るのが理想的だ。不便が全て悪いわけではなく、便利が全て良いわけでもないが、インターネット機器を持っている子と持っていない子では差があることを知り、向き合っていくべきだと思う。</p>
214	<p>今よりもっと明るい吉野川市になるために、地域でボランティアの清掃活動をおこなうことを提案したい。清掃活動は、身近で、日ごろから一番取り組みやすいと思うからだ。参加賞のようなお茶やスポーツ飲料があれば、実際に中学校での取組では毎回多くの人に参加してくれている。清掃後に飲むスポーツ飲料はとてもおいしく、清掃活動がんばってよかったと思える。最初は参加賞の飲み物目当てで参加していたという友だちは、参加しているうちに清掃活動が楽しくなり、今では飲み物が欲しいからという理由ではなくなったという。友だちのように最初は飲み物目当てでもいいので、多くの人に参加してもらい、清掃活動が本当は楽しいものだと思わせてほしい。「こどもまんなか応援サポーター」として、私がしたいことは、学校や公共施設に清掃活動についてのポスターを掲示したり、自分から進んで清掃活動に参加をすることだ。そうすることで、吉野川市は今よりもっときれいになり、住みやすくなると思う。市外から来た人にも、外国人にも住んでみたいと思ってもらえる、誰からも愛される吉野川市になってほしい。</p>
215	<p>吉野川市の課題を2つ。一つ目はゴミのポイ捨てに関するマナー。学校の清掃活動に参加するとかなりの量のゴミが集まる。また川へのゴミのポイ捨てを見たこともある。川に捨てられると捨てることができず、環境汚染の原因にもなるので悲しくなった。二つ目は交通ルールやマナー。信号を無視する車や自転車をみかけることがある。また、道路の真ん中で危険な蛇行運転をする子どもがいても、そばにいるその子の親は平然としており、注意する様子もみられないといったこともある。交通マナーは、皆が守らなければ意味がない。学生の私にできることは限られているが、吉野川市がすこしでもより良くなっていくようにと思う。</p>
216	<p>こどもは親を選べないので、もし虐待する親であっても親は親なので誰にも相談できずにいる子がいると思う。自分が、そういった子に何ができるか、どのように行動するのが正解なのかは分からないが、人から見聞かすだけでなく、自らいち早く気づき行動できることが大切だと思う。そのためには「気づき」が何より大切になるので、日々、気づきを大切に行動を心がけたい。また、これらの問題は自分一人で解決することができないこともたくさんあると思う。周囲も一緒に行動し、社会に繋いでいけるよう、協力してもらえ仲間をつくることも同時にしていきたい。「こどもまんなか社会」を実現するにあたって、これらのアクションを一つずつ実行していきたい。</p>

No.	意見
217	<p>吉野川市はこどもの遊ぶ場所がどんどん少なくなり、高齢化社会、高齢者中心の吉野川市になっていると思う。唯一あったプリクラはなくなり、遊園地も医療センターに変わってしまった。増えるのはドラッグストアばかりで、休日こどもが遊ぶのは、JRやバスを利用して行く市外の施設になっている。若者向けの衣料品を扱う店舗はなく、あるのは商店街の婦人服屋さんくらい。吉野川市にも大手ショッピングセンター（ゲームセンター、飲食店、衣料品店、専門店、フードコートなど）があれば幅広い年齢層が利用できていいと思う。また、スポーツ施設も他市に比べて少ない。テニスコートは、川島城にあるが2面程度しかなく予約がとれない。一方で阿波市には借りられるテニスコートがたくさんある。吉野川市もこどもまんなか社会、こども中心の社会に変えてほしいと思う。</p>
218	<p>日本の国へのお願い。小中高の授業料を無料にしてほしい。我が家の両親は共働きで、朝から晩まで働き、時間的にも経済的にも余裕があるように見えない。私や兄の部活動にかかる用具や遠征費などで多くの出費がかさんでいると思う。日本や吉野川市には、子育てがしやすいまちづくりをして欲しいと思う。そしてまた、活気のある吉野川市になってほしい。必要なのは、吉野川市内の人はもちろん、市外からも多くの人が集まることだと思うが、今の吉野川市には大型ショッピングモールもなく、買い物は市外（徳島市）でしていることが多い。ごくろう祭りや花火イベントはあるが、芸能人や音楽会などを観ることも年1回くらいあってほしいし、プロのスポーツ選手との交流するイベントもあれば、音楽やスポーツなどを高い意識を持って練習することに繋がると思う。</p> <p>こどもにやさしい吉野川市。芸術に親しめる吉野川市。スポーツに打ち込める吉野川市。</p> <p>これらを目指してほしい。いつか吉野川市から大物アーティストや大リーガーが出てくるようになれば素晴らしいと思う。そうなれるよう、私たちが目の前にあることをしっかり学習し協力していきたい。</p>
219	<p>こどもを取り巻く環境を輪投げでイメージしてみた。輪投げの軸が私たちこどもで、輪が私たちこどもを取り巻く環境（学校、友だち、親など）だ。輪を投げるのが強すぎても弱すぎてもうまく入らず、軸を倒してしまうこともある。失敗すると力加減をより考えて行動するので、輪が一つ入り、もう一つ入りと少しずつ軸にたまっていく。</p> <p>今のこどもを取り巻く環境の一つがSNSだ。今のこどもたちは、顔を知らなくても人と繋がれる時代に生きている。顔が見えないために、簡単に心ない言葉を目にしたり、発信したりしてしまい、そういった輪を投げられる度に軸は倒れてしまう。その倒れた軸を起こしてくれるのは、友だちや先生や親だ。時には一緒に起こしてあげたり、起こされたりして私たちは強くなり、絆が生まれる。私たちこどもは、日々を全力で生きている。大人には、私たちこどもの目線に立ち一緒に考えて欲しい。そして時には逃げ道を作って欲しい。それは、私たちが頑張る力になる。「十人十色」。こどもは一人ひとり、みんな別々の趣味や嗜好があって一律ではない。男だから女だからと線引きせず、一人の人間として自分の人生を歩みたい。目に見えるものが全てではないこの時代だからこそ、目に見えないものを大切に、命を大切に、こどもまんなか社会をつくるために、仲間とすてきな土台作りをしたいと思う。私たちが大人になったとき、胸を張ってこどもたちにバトンをつなげるよう努力したいと思う。</p>

No.	意見
220	<p>将来絶対に使わないだろうとしか思えない内容の勉強をすることに大きな疑問を感じる。こどもの将来の夢は十人十色である。中学生まで一律の学習をするのではなく、自分の夢に近づくため、学ぶ教科を選択制にするのが良いと思う。そうすることにより、早い段階から自分の夢に向き合える。また、すぐそこに未来があるので学習へのモチベーションを高く持てるはずだ。そして、教師の負担も減らせる。一律に大勢を指導することがなくなるため、一人ひとりの生徒と向き合う時間もとれるようになる。プログラミングやスポーツ、専門分野などを選択することで教師以外（実際に働いている人）に教えてもらうことができるため、残業を減らすことも可能だ。私たちこどもは、日本の、吉野川市民の一員として政治や地域の魅力を学び、自ら考える力を身につけることが必要だ。文句ばかり言っても解決しない。私たちこどもは未来を作り出す。明るい未来を背負っていることを知り、他人事と思わず、社会をよくするにはどうすればいいのかを自ら考え導き出せる人になりたい。</p>
221	<p>吉野川市にあればいいと思う施設。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手店舗型コーヒーチェーン店（少々高いが味は美味しく、休憩の場として様々な世代から人気がある） ・プリクラのあるゲームセンター（雨の日でも幅広い年代で楽しめる施設） ・大型ショッピングモール（スーパー、衣料品店、遊び場、飲食店、フードコートなどが全てそろっており、幅広い年代の多くの人を楽しむことができる） <p>飲食、買い物だけでなく、たくさんの人がコミュニケーションがとれたり、学べたりするような施設が将来の吉野川市に増え、益々発展して欲しいと思う。</p>
222	<p>「こどもまんなか社会」とはどんなものか知りたいと思ってみてきた。こどもを社会のまんなかに据え、少子化で減少しているこどもの意見を大切に社会をつくっていくこと。そして、私たちが大人になったときは、こどものことを考えて行動することを覚えておこうと思う。</p>
223	<p>よりよい吉野川市にするために、</p> <p>「ルールを守る」交通ルールを守り、事故のない安心安全に暮らせる吉野川市にする。</p> <p>「ボランティア活動に参加する」ゴミのポイ捨てが生き物や景観など、私たちの生活環境に与える影響は大きい。ボランティア活動に参加して環境を維持していく。</p> <p>「地域での交流を大切にする」コロナ禍でイベント等が減り、地域の方との交流が少なくなっている。イベント等に参加し、地域の色々な人と交流することで学べるものを大切にする。</p> <p>いい町にするためにはみんなで協力することが重要だ。自分にできることから始めませんか。</p>
224	<p>いままで何気なく守っているだけだった生活の中のルールやきまりについて改めて考えてみると、私たちが安全に生活できたり、少しでも不自由なく暮らせるよう、ルールの一つ一つに理由があることが分かった。もしルールがなかったら、毎日多くの交通事故が起きて、たくさんの人がけがをしたり亡くなったり、道ばたに捨てられたたくさんのゴミが落ちていることなどが想像でき、怖いと感じた。今の自分にできることは何もないが、交通ルールを守ったり、ゴミのポイ捨てはしないようにしようと思う</p>

No.	意見
225	<p>スーパーやドラッグストアなどの商業施設がたくさんできたことにより、日用品を購入する大人にとっては便利になったが、こどもにはあまり需要がない。こどもまんなか社会を実現するなら、こどもの遊べる公園やイベントをつくる必要があると思う。こどもが笑顔であれば、市の雰囲気も一気に明るくなる。吉野川市全体で協力し、支え合うことでこどもの満面の笑顔がみられる市になってほしい。</p>
226	<p>県内全ての中学生の登下校の安全のために、学校へのスマホの持ち込みについて可とするべきだと提案する。昨年、自分の通う中学校へ脅迫文が送られてきたことがあり、登下校中に何かあったらと不安だった。スマホがあれば万一のときにはその場から連絡することができる。学校へ持ち込んではならない理由は、授業中にスマホを触ってしまう人がいるからだ。それを回避するために、校門で回収し、放課後まで学校管理にすればいい。預かる場所などの設備が必要になるが、登下校の安全性の確保のためには挑戦すべきだと思う。スマホを持ってきてもいいというルールを強く提案したい。</p>
227	<p>吉野川市には英検への補助制度があり、私たちにとって挑戦しやすい環境である。同じように漢検についても補助制度を検討して欲しいと思う。</p> <p>また、鴨島町には多くの店舗や飲食店が集中しているが、自分の住む川島町にはあまりない。車で２０分程度かけて買い物にいかなければならない。地域にまんべんに店舗があれば、高齢者も歩いて買い物に行くことができ便利だと思う。</p>
228	<p>大型ショッピングモールができてほしい。できればたくさん地域にできてほしい。多くの種類のもものが揃っているため、時間を有効に買い物ができるからだ。また、こどもが友だちと遊んだり、休憩できる場所がほしい。公園やサッカー、バドミントンができるスペースや図書館など。こういった場所があれば、友だちと遊ぶ機会が増えるのでぜひ作って欲しい。吉野川市のいいところは、地域の人と仲が良いところだ。吉野川市の良さを大切に守っていききたい。</p>
229	<p>吉野川市に店舗や公園をつくってほしい。ケーキや菓子の専門店がもっとできてほしい。また本屋や文房具の店もあってほしい。自分の住む地域にはあまり店がなく、鴨島まで行かなくてはならない。また、公園など遊べる場所もないため、外で遊ぶ機会が減っていると思う。市外まで行くには、お金と時間がかかってしまう。そして、イベントを増やして欲しい。冬にもイベントをするといいと思う。市外から多くの人を訪れることで賑やかな吉野川市になってほしい。</p>
230	<p>私が考える吉野川市の良いところは、まず人が笑顔になるイベント（祭りや阿波おどりなど）を行っている点だ。実際に参加したら心から楽しいと感じるし、きっと他の人も同じだと思う。次に、豊かで平和だということ。家の周辺や道路で、ゴミが放置されていたり荒らされていたりということは見たことがない。これは、市民が常に心がけてゴミ拾いなどを続けているからだと思う。また、学校や近所で挨拶があふれていることも平和であることに繋がっていると思う。</p> <p>一方でよくないと思うところは、自分の通う中学校の体育館に熱中症対策が十分でないことだ。他校のように冷房があれば扇風機よりも効率がいいと思う。今後の吉野川市がもっと良くなっていけるといいと思う。</p>

No.	意見
231	<p>吉野川市のいい点は、飲食店がたくさんあることだと思う。若者たちに人気の洋食店も多い。また幅広い年齢層が利用するコンビニエンスストアも20店舗近くあるので、出かけるときの休憩や買い物に便利だと思う。多少不便と感じるのは、ドライブスルーが少ないところだ。ドライブスルーがあれば、遠出するときなど店舗に入らなくても買うことができるので便利だと思う。ドライブスルーに対応する店を増やしたり、今ある店を改築するなどして増やして欲しいと思う。</p>
232	<p>吉野川市に映画館のあるショッピングモールを作って欲しい。また、汽車の便数も増やして欲しい。友だちと映画を観に行こうとしても、映画の上映時間とJRやバスの時間が合わず、結局親の仕事が休みの時に支援してもらわなければならないと迷惑をかけてしまう。SNSで発信される流行の食べ物や飲み物を見ているとうらやましいと思うが、ショッピングモールが遠いため行くことが難しいのでストレスになっている。今の緑の多い町並みの吉野川市も好きだが、賑やかに発展してくれるのも嬉しいことなので、もっと発展して欲しい。</p>
233	<p>県外人から見た徳島県の悪いところは交通マナーだ。黄色信号の問題をまず解決するべきだと思う。この問題の解決が他の交通関係の問題の解決にも繋がり、よりよい吉野川市になっていけるはずだ。皆がhappyになれば心に余裕もでき一人ひとりのマナーももっとよくなると思う。まず吉野川市から、それが徳島県、四国と広がって行けばいいと思う。</p>
234	<p>私は自分が育ってきた吉野川市が好きだ。みんなやさしく話しやすいことや、自然環境に恵まれており、四季を通して楽しんで生活することができる場所だ。しかし不便なこともいくつかある。一つ目はこどもが遊ぶのに適した場所が少なく、徳島市など遠い場所に行く必要があること。二つ目はJRの便数が少なく、一本乗り遅れると30分から一時間の待ち時間になってしまうこと。三つ目はラーメン店などの飲食店が少ないため空腹時にすぐ食べにいけないこと。これらの不便が解消されたら、私たちこどもが過ごしやすくなりさらに良い町になると思う。</p>
235	<p>吉野川市は最近のものや店が圧倒的に無いが、田舎ならではの良さはあると思う。しかし、一方で交通ルールを守れていないと感じることが多い。自転車と車が接触してしまうこともあった。道路の幅も狭いと思う。また最近の日本は税収は上がっているのに増税したり、不景気なのに色々な国にお金をばらまいたりといったことをしているが、もっと資源を大切に、効率的な活用をして賃金を上げ成長して欲しい。そしてこの状況のなか、最後まで平和主義を守り戦争を起こさないで欲しいと思う。</p>
236	<p>徳島県吉野川市は、道路の幅が狭かったり、ガードレールの無い道があったり、見通しが悪い危険な道があるものの、それ以外ではとても暮らしやすいと思う。英検の補助があったり、予防接種もほぼ無料で受けることができたり、医療機関を受診する場合、ひと月600円を負担すればそれ以上の負担なく診てもらえるなど、他の国に比べてもとても平和で安心安全なこの日本に生まれてよかったと感じる。私は、平和で争いの無いこの国が世界一好きだ。その大好きな国、日本の中でも特に好きなのは、挨拶をすると挨拶がいつも返ってくるこの吉野川市だ。「おはようございます」と言うと「おはよう」や「元気だね」と返してくれる人が住むあたたかい吉野川市を誇りに思う。</p>

No.	意見
237	<p>吉野川市は、空き家や空き地は目立つが、公園など、こどもが遊ぶことのできる場所は非常に少ない。これでは吉野川市の少子高齢化は進んで当然だ。確かにきれいな山と自然はある。地球環境の未来を考えると自然を残すことは必要だが、さすがにこどもが遊ぶ場所が少なすぎる。自然に配慮した建造物にするなど工夫をしてみたらどうか。こどもたちが安全に遊ぶ場所ができ、親が安心できるまちづくりができれば吉野川市の人口も増えていくと思う。</p>
238	<p>私は自然が豊かで空気がきれいな吉野川市が好きだ。でもやはり不便な点はある。一つ目は周辺にスーパーやコンビニエンスストアが少ないことだ。ちょっとした買い物に30分かかってしまう。二つ目は遊ぶ場所が少ないことだ。徳島市までJRを使って行かなければならないため不便だ。三つ目は出会いが少ないこと。人口減少により人との交流が少なく寂しい。四つ目は、交通マナーが悪いこと。特に黄色信号で強引に突っ込んでくることは、事故になりかねないのでやめてほしい。これらの点を改善し、買い物に便利で、観光等で市外から人が集まることで活性化を促し、交通マナーがよく事故が起こらない吉野川市にできるよう精進していきたい。</p>
239	<p>一つ目はこどもが遊べる公園を作って欲しい。新たな設置や今ある公園の遊具を増やすなど。アスレチックもあればいいと思う。二つ目はドラッグストア以外の店舗を増やしてほしい。幅広い年齢層が楽しめるアニメイトやゲームセンターなど。このような状況だから吉野川市に住もうと思う人が少なく、私たちこどもが都会に住みたいと思うのも仕方がない。ぜひお願いしたい。</p>
240	<p>様々なルールについて考えてみた。人が傷つけられたり、ものを壊されたりしたときルールがあればペナルティが科されるため、罪を犯そうとすることを防ぐことができる。ルールがなければ、やりたい放題の無法地帯になる。法律以外にも、各家庭のルールや会社のルール、個人のルールなどもある。ルールを守ることで安全な生活や信頼関係を築いて行けるのだと思う。ルールを守る意味をこれまで深く考えたことがなかったが、この作文を書きながらより一層ルールを守り、誰もが傷つかないよう安全に生活していきたいと思った。ルールがあるからこそ、今の日本があると感じた。</p>
241	<p>今の吉野川市に不満を持っている。それは遊ぶところがなく楽しむことができないことだ。近畿からのアクセスのよい徳島県に千葉や大阪のような大きなテーマパークを作り（予算は四国四県から集める）、四国一周電車もしくは新幹線でつなぐとともに、愛媛県と九州とを高速道路・海中道路でつなぐ。空港の規模を大きくして世界各国との路線を開拓することで外国人観光客も望む。東京、北海道との間を宇宙ドームでつなぎエレベーターで昇降できるようにすれば、アクセスがよくなるだけでなく、それ自体も観光スポットになる。海外とも繋げば、移動時間を格段に短くすることができる。こんな吉野川市になれば楽しいし、嬉しいと思う。でも今の吉野川市も大好きだ。</p>

No.	意見
242	<p>理想の吉野川市について考えてみた。大きくは変わる必要は無いと思うが、それでも改善してほしいことは3つある。一つ目は、空き家対策だ。近所だけでも空き家が3軒ほどあり、利用されていない。このような空き家は、南海トラフのような巨大地震では崩壊する危険性があるため、前もって壊す、リサイクルするなどの対策をしてもらいたい。二つ目は、道路について。道路の舗装をしっかりと整備してほしい。ひび割れは危険である。また、犯罪を防ぐために外灯などの照明も設置してほしい。三つ目は、やはり遊ぶところがないこと。家の中でゲームで遊べばよいのかもしれないが、外で遊びたいときに公園などがなくて困るからだ。新しく作らなくても、今ある公園を今一度整備（草刈り、遊具の見直しなど）するだけで変わる。これらは、これからもこの町に住む上で必ず直面する課題だと思う。検討をお願いしたい。</p>
243	<p>吉野川市には、これというものが無い印象だ。ぶどうなど農産物はあるが、自分の住んでいる市のいいところがあまり思い浮かばない。おそらく、いいところはあるのに、知る機会がないために吉野川市はつまらないと思ってしまう。幅広い年代で遊ぶことのできる施設をつくり、併せて、もっとSNSやテレビ、チラシなどを使い、店舗やイベントなどについて広く呼びかけて周知すればいいと思う。吉野川市はもっと盛り上げることができると思う。一気に変わることはできないが、少しずつ変わっていき、たくさんのいいところがある吉野川市という認識にしたい。</p>
244	<p>自然豊かな吉野川市は好きだが、不便だと感じるのは、市内には飲食店や遊ぶ場所が少なく友だちと遊ぶのは徳島市になるため、その移動時間や交通費に苦慮することだ。最近JRの運賃が値上げされ、自分の最寄り駅が切符の販売を中止するなど、より手間とお金がかかることになり、移動手段でJRを使うことへのハードルがさらに上がった。また、市内に限らず、信号無視ギリギリのタイミングで走り抜ける車が多い。事故を起こさない為の信号のはずが、このままでは事故が起きかねないと感じる。スピードを出しすぎている車や、左右確認せず横断する自転車など、これらを取り締まっていけばより安全に過ごせると思う。最後に、もっと大きなイベントが開催されるといいと思う。</p>
245	<p>「こどもまんなか社会」で吉野川市に期待すること。中学校の体育館やグラウンドの設備を改善してほしい。私は卓球部だが、練習中に熱中症で倒れる子がいるほど夏の体育館は暑い。暑くて練習に集中できないため、体育館にエアコンをつけてほしい。また、こどもが遊べる公園を増やして欲しい。</p> <p>しかし一方で、高齢者の割合が大きくなっていることも考えなければならない。先日買い物に行った際、目の前を重そうなおばあちゃんを見たので、私はその荷物を持ってあげて車まで運んだ。おばあちゃんから「ありがとう」と言われてとても嬉しかった。こどもも高齢者も安心、安全に暮らせる「どちらもまんなか社会」の吉野川市にしていければいいと思う。</p>

No.	意見
246	<p>地域活性化。過疎化、高齢化がともに進んでいる吉野川市は、人口減少を抑えるため、住みたい町、住みやすい町に改革していかなければならない。</p> <p>例１）余った土地の有効活用として大型ショッピングモールをつくり、吉野川遊園地の復活を図る。地域への貢献度が高いため過疎化への歯止めをかける役割が期待できる。また、災害時の避難、防災、復興拠点になる。</p> <p>例２）鴨島駅前の商店街の活性化。シャッターを降ろしている店舗をなるべくなくすため、企業や商店を誘致する。商品やサービスを高齢者向けにするなどにより収益をあげるとともに、高齢者の憩いの場とする。</p> <p>例３）若い世代の移住促進のため市営住宅や空き家を現代風にリノベーションし、人口増につなげる。</p> <p>以上のことに取り組むことで、どの世代も住みやすい町にしてほしい。</p>
247	<p>私は、日本を差別やいじめのない、みんなが平和で楽しく笑えるような国にしたい。そして、吉野川市をもっと活性化させたい。都会になればいいとまでは思わないが、せめて田舎ランキングから抜け出せるよう、大型ショッピングモールなどを作るなどして多くの人が集まる町になってほしい。そして、こどもの意見が尊重され、子どもたちが平和で楽しく生きられる社会になるよう願っている。</p>
248	<p>吉野川市内がごみのポイ捨てのない町になってほしい。また、市内が等しく発展して欲しい。鴨島に店舗が集中しているが、近くにあればスキマ時間に行くことができ、近隣の人は便利になると思う。</p>
249	<p>鴨島に店舗が集中しており、川島には飲食店やファーストフード店などもないため気軽に食べに行くことができない。しかし鴨島にはドラッグストアばかり増えている。道路や建物を挟んでドラッグストアがあるのは、正直多すぎると思う。それよりも、衣料品店やゲームセンターなど吉野川市にない店をたくさんつくって欲しい。また、町の象徴となるような建造物があればいいと思う。県内の他の町に負けないよう、徳島一の市になるよう期待している。</p>
250	<p>吉野川市のよいところは自然豊かなところだ。しかしもっといい吉野川市にするための提案。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人を楽しむことのできるテーマパークや公園などの施設をつくる ・女性客、家族、カップルなどが利用できるカフェをつくる ・ライブ会場をつくり、他県からたくさんの推しやファンが来ることで、吉野川市の良さを知ってもらう
251	<p>吉野川市への意見。クーポン券をブックオフで使えるようにしてほしい。受験勉強をたくさんするために自習専用の施設をつくって欲しい。スポーツ施設をたくさんつくって欲しい。市外まで行かなくてもいいように大規模ショッピングモールをつくってほしい。コンビニエンスストアもたくさん増やして欲しい。ついでにブックオフもたくさんつくって欲しい。私は本をたくさん買って幸せになり、その活力で勉強のやる気を起こしている。高校に受かり、最強の大人になり周囲を幸せにし、世界から戦争や貧困格差がなくなり、新たな技術が開発され、世の中の治せない病気がなくなり、世界が平和になり、そして私もまた幸せになるかも知れないからだ。</p>

No.	意見
252	<p>強いて言うなら。大型ショッピングモールや一般に開放されたスポーツ施設（体育館、プール）、大きな公園を建設して欲しい。私たち中学生が気軽に利用できる大きな公園や体育館、プールがあれば、友だちと運動をして遊ぶことができる。吉野川市は生活に欠かせないいろいろな店舗が揃っており、とても住みやすいところだが、こどもが遊ぶ場所は少ないと思う。私たちの税金を、もっと私たちのために使えば、みんなが笑顔になり、総理を好きになる人も増えると思う。よい町にするために吉野川市やこの国を変えていきたい。</p>
253	<p>徳島市内から引っ越してきた当初はとても田舎で驚いたが、夏には花火大会や阿波おどりがあり、夏が来るのを毎年楽しみにしている。美郷のホテルは一度見に行ったことがある。ホテルが無数に飛んでおり感動した。鴨島には飲食店やスーパー、ドラッグストアがたくさんある。地域を支える大きな病院（医療センター）もある。普段鴨島にしか行かないので、川島や山川にもスーパーや映画館などをつくってほしい。新しい遊園地をつくるなど、地元で遊ぶところがほしい。</p>
254	<p>今を生きる人たちは、これから生まれてくるこどもから世界を借りているようなもの。だからこそこどもを中心に考えていかなければならないのだと思う。吉野川市は年々人口が減少している。吉野川市に必要なのは、人が人を互いを思いやること、笑顔と愛だ。皆がフレンドリーになり気持ちの面から変わることができたら、人も増える。人が増えれば施設も増える。川島町にはコンビニエンスストアが一軒もない。川島町は忘れられたのか。人は減り、空き地は増える。私は「こどもまんなか社会」によって、私が生きる川島町を、吉野川市を、徳島県を、日本を、世界一の国に変えたい。</p>
255	<p>こどもまんなか社会は、こどもが親の勝手にモノのように扱われたり命を失ったりすることのない世の中にならなければ実現はありえない。親がこどもを産みやすい世の中をつくとともに、こどもが大事にされないことを防ぐためのルールや規則が必要だと思う。このことを吉野川市に強く言いたい。また、吉野川市には大型ショッピングモールが必要だ。家族や恋人が一緒に時間を過ごすことのできる場所があることで、吉野川市にこどもが増えていくと思う。</p>
256	<p>吉野川市の魅力。鴨島の魅力はスーパーマーケットやドラッグストア、飲食店、市民アリーナ、菊人形、色々な祭りやイベントなど。川島には川島城、チェリーロード、お守りで有名な学駅、ぶどう園、上桜のサッカー場。山川にはバンブーパーク、スーパーマーケット、高越山、ふいご温泉。美郷ではホテル、梅、高開の石積みなど。訪れるべき場所がたくさんある。</p> <p>次に課題。鴨島はドラッグストアが多すぎる、人口減少と少子高齢化、目立つシンボルがないこと。ぜひ鴨島には大型ショッピングモールをつくってほしい。川島は人口減少と少子高齢化、空き家の増加、学島川の整備など。山川の課題は人口減少と少子高齢化、美郷は人口減少と少子高齢化、空き家の増加、ホテルの減少、店舗（飲食店）が少ないなど。</p> <p>持続可能な社会をつくるために必要なのは、少子高齢化、人口減少を防ぎ、自然の手入れをすることだ。共働き世帯では男性も育休を取り入れて、二人でこどもを育てる環境を整えば人口は増加すると思う。みんなで吉野川市を明るくしていきたい。</p>
257	<p>最近、税金が上がっているということをよく耳にする。ガソリンの値上がりにも驚いた。この国は税金で成り立っている。吉野川市はあまり店舗もないし、出前・フードデリバリーサービスもない。税金を下げることは難しいかもしれないが、吉野川市が世界一平和で笑顔でいられる町になってほしい。税金を下げてみんなで笑顔になりたい。</p>

No.	意見
258	<p>買い物の度に徳島市に行かなくてもいいよう、吉野川市に大型ショッピングモールをつくってほしい。また、徳島市に比べると道路もガタガタで自転車で走行しづらいため、道路整備もしてほしい。川島町にも店舗や病院などができれば生活が便利で豊かになる。また、昔あった吉野川遊園地のような施設をもう一度つくって欲しい。ただし、今の田舎の吉野川市も好きなのでほどほどでよい。ありがとう吉野川市。</p>
259	<p>自分の意見で何かが変わるとは思えないため、正直書きたくないし言いたくない。でも、もし神様がいて願いを聞いてもらえるなら、学校の近くにコンビニエンスストアやスーパーマーケットをつくり、遠くの店舗まで行かなくてもいいようにしてほしい。そして、学校の校則で買い食いを許可し、且つスマホの持ち込みを許可してほしい。バーコード決済などができるとコンビニや自動販売機の売り上げも伸びるからだ。コンビニが学校の近くにできることで、学生が登校しやすくなる。放課後に何か買い食いすることで気分が晴れたり楽になって過ごせる。全員ではなくても8割以上が楽しく過ごせれば、事件や事故が減り、不登校もなくしていける。中学校の校則はブラックだ。そこが変わらなければ吉野川市はよくなると思う。</p>
260	<p>吉野川市はきれいな町だと思う。しかしゴミのポイ捨てをする人が増えていると感じる。空き缶やペットボトルを、まるで隠すように草の中に捨ててあるのを見ると、ポイ捨てが悪いことだと分かってやっているのがよく分かる。それをしているのが大人だとすれば残念だ。ゴミは持ち帰り、誰もが吉野川市にいてよかったと思えるようにしたい。おとなだけがするのではなく、こどもが大人を変えていくとよい。こどもが大人になり、よい未来をつくる。私は中学を卒業したら様々なボランティアに参加しようと思う。そしていろいろな人に協力していきたい。とりあえず、吉野川市で行っているボランティアに参加できるのであれば全力で臨みたい。誰かがしないとよい未来をつくれなと思う。</p>
261	<p>土地の有効活用をしてほしい。ドラッグストアばかりはいらないので、若者対象の衣料品店や飲食店をつくる。また、市民の交通手段であるJR駅周辺の活性化をおこなう。まずは人通りの多い鴨島駅周辺から手始めに、大型ショッピングモールをつくるなど商業地化を実践するといい。「こどもまんなか社会」として、小さい子どもから中高生、若者までと一緒に遊ぶことのできる遊園地や室内プールなど施設があれば、わざわざ徳島市内へ行かなくてもよくなり、吉野川市内ももっとたくさんの人で賑わうだろう。こどもまんなか社会では、未来をつくっていく私たちが自ら意見を出し合い、声をあげていくことが大切だ。そのためには、子どもが声をあげやすくなるような環境をつくること、一つ一つの意見を実践してることが、これからの吉野川市にとって最も重要だと思う。</p>
262	<p>持続可能な吉野川市にするためには人口減少対策に力を入れて欲しい。人口の減少による問題として学校の廃校やバス路線の廃止など、生活に直接関わる問題がすでに起きている。このままでは益々人口は減ってしまう。フランスなど諸外国を参考に子育てしやすい環境を整えること（男性の育休取得など）や、積極的な企業・工場の誘致をおこない、若者の市外流出を防ぐ。第三セクターでバスを運行し、駅まで繋ぎ、もっとJRを利用しやすくする。ゴミの分別をもっとしっかりする。自然を活かし、国産材活用のため林業をもっと活発にする。農業では地産地消の促進と県外への販売促進。農家が減らないよう補助を強化。鴨島駅周辺の商店街の再生・住居一体型の店舗（商店街）を検討する。</p>

No.	意見
263	<p>川島にスーパーマーケットをつくってほしい。DMVを運行してほしい。吉野川を中心に観光スポット（カヤックでの川下りなど）をもっとPRして欲しい。自然公園的な施設（自然の物だけでつくる）をつくってほしい。キャンプスポットをつくってほしい。幅広い年齢層が参加でき、定期的で開催されるイベントを増やして地域交流を活発にしてほしい。集中している鴨島のドラッグストアを別のものに変えてほしい。災害対策をしっかりとしてほしい。</p>
264	<p>少子高齢化や人口減少に歯止めをかけるため、店舗（ドラッグストア以外のカフェや専門店）やイベントを増やし、市外からの流入人口と移住してくる人を増やす。幅広い年齢層が楽しめる公園やテーマパークをつくる。私は吉野川市を賑やかにするため、カフェをつくりたい。ラテアート、アレルギー対応の豆乳や米粉を使用したカフェだ。にぎやかな吉野川市にするため、私も最善を尽くしたいと思う。</p>
265	<p>「吉野川市解体プロジェクト」提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家を解体。メリット：見通しがよくなり、児童・生徒が安心して登下校できる。土地を更地にし、新たに家を建てたり畑にしたりすることが可能。デメリット：解体費用を要する。 ・公園を解体。今ある公園は、草が多く使用できない場所であり、遊具も老朽化し使用できない状態である。これらを解体し、新しい遊具に取り換えたり、草刈りを行う。メリット：家の中でゲーム機やスマホを使い、インターネット上で友だちと遊ぶ現代のこどもが外に出て、友だちと外で遊ぶきっかけとなる。体力向上につながる。デメリット：解体費用や管理費用を要する。 <p>吉野川市を今よりもっとよくするために、費用はかかるがぜひお願いしたい。</p>
266	<p>身の回りにはルールやマナーがとても多い。多すぎるルールの中で、なぜ中学校は靴は白色でなければならないのか等、疑問も感じている。しかし、お店で酔っている男性客が支払いをせずに商品を持って行こうとし、他の客や店員に迷惑をかけているところをみたとき、やはりルールは必要なのだと思った。</p>
267	<p>こどもが安全で楽しい吉野川市。夜間にカートランドがうるさい、細い道でスピードを出しすぎているなどはやめてもらいたい。また、イベントをもう少し増やして欲しい。色々な屋台を出して楽しめる祭りなどもあるといいと思う。吉野川市がもっと盛り上がるよう、協力してつくってほしいと思う。</p>
268	<p>ひとが大切にされる吉野川市になってほしい。生活の中や学校生活での困りごとを周りの人や友だちに相談できず、問題を抱えたまま学校や職場に行きたくない（不登校）ということや、現実（社会）に呆れ、諦め自殺するといったことが無くなってほしいと思う。そのための相談できる施設（センター）をつくってほしい。困りごとや悩みを聴き、解決したり悩みをなくして自由な生活を送れるよう、また人とのかわり方を上手にできるようサポートし、その人が人生を楽しく暮らせるような吉野川市になってほしい。</p>

No.	意見
269	<p>こどもや大人、高齢者が毎日楽しく過ごせる吉野川市になってほしい。そのためには、祭りなどのイベントを増やしたり、ゴミ拾いなどの環境美化の活動、市民対象の運動のクラブ活動をする、そのための施設をつくる。そして、これらの活動をとおして地域の人の関わりが増え（関係が）良くなれば良いと思う。友だちと話し合った際に出た学校に関する意見では、夏休みを増やして欲しい、宿題を減らして欲しいなどがあった。あくまで「理想」の意見だが、幅広い年代が楽しく暮らせる町になってほしい。</p>
270	<p>私はショッピングモールで買い物をするのが好きだ。ただ、徳島市内までJRで行かなければならず不便だ。ショッピングモールにはたくさんの人 coming。もし吉野川市にショッピングモールができれば、人で賑わうだろうし、徳島市内まで行かなくてもいいので私は毎日でも通うと思う。</p> <p>また、道路に外灯を設置してほしい。部活の帰り道が暗く、不安な気持ちで帰っている。外灯が増えれば、明るい道を不安にならず安全に帰宅できると思う。</p>
271	<p>学校の朝の勉強時間と読書15分間は要らないと思う。すぐ授業を始めて、帰宅時間を早めることで家での時間を多くとれるようにしてほしい。夏休みや冬休みの宿題には必要ないと思われるものがあるし、量も多すぎる。ワークなどは量が多すぎるとただこなすだけの作業になる。あの量をまじめにやっている人は多くないと思う。また、他地域と比べて、イベントや学校で何かできる範囲が狭いと感じる。もう少し自由にやれてもいいと思う。</p> <p>市内にショッピングモールでも遊園地でも何でもいいので遊べる場所がほしい。</p>
272	<p>「私の理想の吉野川市」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇や休日に遊べる場所がほしい ・買い物ができるショッピングモールを増やす ・ゲームセンターをつくらしてほしい ・部活をしていると帰宅時間が遅くなり宿題をする時間が十分とらずらいので、5時間授業の日を増やしてほしい
273	<p>「こどもまんなか社会」の実現に必要なことを考えてみた。まずは、イベントを増やすといいと思う。イベントを増やすことで、子ども同士の交流の機会が増え、吉野川市のことを知り、思い出に残れば吉野川市を好きになると思う。次に、大きな公園などの施設をつくるといいと思う。多くの人を訪れ、吉野川市のことを知るきっかけとなり、またこどもが体を使って遊ぶ場になるからだ。最後に、道路などの清掃活動をするといいと思う。地域の人と協力し、除草作業やゴミ拾いをおこない、自分の町をきれいに保つことは大切だ。これら3つのことを実践すれば、こどもたちが安心して暮らせる「こどもまんなか社会」の実現に近づくことができるだろう。</p>
274	<p>イベントを増やすことで、こどもは楽しい時間を持てる。そしてこどもの楽しむ様子は大人にとってもプラスになり、吉野川市が活性化する。また、遊ぶことのできる場所をつくることで、休日に家に引きこもることが減り、家族や友だちとの関係を深めることができると思う。イベントや遊ぶ場所を増やすことは、吉野川市をいい町にすることに繋がると思う。</p>

No.	意見
275	<p>きれいな住みやすい町に。ゴミのポイ捨てや祭りのときのゴミの散乱などは、一人ひとりの意識が変わらなくてはならない。ポスターなどで呼びかけることが大切だと思う。また、大型ショッピングモールは遠くまで車を運転していかなくてはならないため、市内にあればとても便利だ。最後に、吉野川市の夏休みは他の地域に比べて短いため、暑い時期の夏休みは長くして欲しいと思う。</p>
276	<p>吉野川市に大型ショッピングモールがあればいいと思う。家族や友だちと行く際、車やJRで遠くまで行かなくてもよくなるので、それだけで生活が大きく変わると思う。また、自転車道路をつくって欲しい。自転車は車道を走らなければならないが、吉野川市の道路は道幅が狭いため、車がぶつかりそうなほどすぐ近くを走っていて危険だ。登下校や遊びに行くときに自転車を使うが、車道は危険なので走りたくない。自転車用の道路ができれば、車も自転車も安心して走ることができると思う。</p>
277	<p>こどもまんなか社会を考えると、学力の差は大きな問題になると思う。最近不登校の子が増えてきているが、学校を休むと授業を受けていない分学力に差が生まれ、さらに学校に来られなくなる。そうならないためにも、全員に配布しているタブレットを活用し、録画やリモートで授業が受けられるようにするべきだと思う。また学力以外に、社会に出て必要なのは、人と協力していくためのコミュニケーション力だ。リモートで会話することで、コミュニケーション力を培うことも期待できると思う。</p>
278	<p>私は、吉野川市がもっと賑やかで明るい町に、楽しく便利な町になればいいと思う。そのためには、イベントを増やし、地域内外の人が触れあい交流する場をつくるべきだ。また、大型ショッピングモールや遊園地などの施設をつくるべきだ。大人もこどもも楽しく過ごすことができれば、自然と人が集まり、賑やかで楽しく明るい町になればいいと思う。</p>
279	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に大型ショッピングモールをつくってほしい。 ・全ての県、全ての国で歩行者優先道路にしてほしい。 ・いじめをなくし、みんなが楽しく元気に登校し、学校生活を送れる学校にいなってほしい。 ・夏休みや冬休みの期間を長くし、宿題ではなく自分から取り組む学習を大事にしてほしい。 <p>以上のことに取り組み、誰もが安心して暮らせる吉野川市になってほしい。</p>
280	<p>遊園地やショッピングモールをつくってほしい。遊園地やショッピングモールができれば、子ども連れの家族が多く訪れ、こどもから大人まで楽しく過ごせると思う。多くの人を訪れることで、吉野川市の文化や伝統について知ってもらうことができ、守り受け継ぐことにも繋がると思う。</p>
281	<p>今の吉野川市には友だちと遊べる場所がない。徳島市内にはJRを利用して行かなくてはならず、JR料金が値上げされたことで遊びに行く機会が減ってしまって寂しい。吉野川市内に大型ショッピングモールや遊ぶ場をつくってほしい。もしできれば、多くの人から集まり賑やかな町になると思う。</p>

No.	意見
282	<ul style="list-style-type: none"> ・学校を5時間授業にしてほしい。部活後に帰宅し宿題をするため、休める時間がとれない。 ・遠くまで買い物に行かなくていいように、市内に大型ショッピングモールをつくってほしい。生活が便利になれば、住んでみようと思う人が増えると思う。 ・学校に登校しづらい子はオンライン授業で勉強できるようになるといい。 ・夏休みや冬休みの宿題を減らして欲しい。理科や社会の自由研究は要らない。もしするならプレゼン形式で。また正直なところ、5教科以外の宿題は身にならないので必要ないと思う。
283	<p>こどもまんなか社会の実現のためには、こどもの意見を聴き、大人がそれを叶えることが必要だと思う。吉野川市には遊べる施設が一番必要だ。こどもから大人まで楽しめる大型ショッピングモールをぜひつくってほしい。JR料金が値上がりになった今、何もない吉野川市を自転車で駆け巡ることしかできない。</p>
284	<p>夏休みと冬休みの期間を長くしてほしい。昔とは違う厳しい暑さの影響を考えてほしい。また、道路にカーブミラーを増やしてほしい。併せて交通マナーも見なおしてほしい。私の周りでは、カーブミラーがない場所が多くあり、車と私たちの双方がお互いに気づかなければとても危険だと思う。</p>
285	<p>吉野川市内に大型ショッピングモールをつくってほしい。現状は、買い物に時間も交通費もたくさんかかるためとても不便だ。また、道路の除草をしてほしい。自転車で通る道に草が出てきており、避けなければ通れず（車と接触する危険性があるため）大変危険だ。安全に登下校できるようにしてほしい。</p>
286	<p>ボーリング、カラオケ、スキー、バスケットボールコート、スケートボードができる広場、流れるプール、テーマパークのようなアトラクションや遊具など、体を動かして多種多様な遊びができる施設をつくってほしい。またイベントや祭りを年間数回おこない、飲食ができる屋台を増やしたりして規模を大きくし、こどもや大人が参加して楽しめる社会になればいいと思う。</p>
287	<p>部活動の打ち上げで大型ショッピングモールに行きたいという案が出ても、親の送迎など交通手段が必要なため日程調整の段階で諦めざるを得ない。近くの飲食店で夕食を食べるといっても選択肢はないに等しく、近くに映画館のある大型ショッピングモールができれば、部活動や友だちとの思い出を作ることができると思う。また、地域のイベントを一地域に限ったものではなく、もっと大きい規模で開催してほしい。そしてそういったイベントは事前にしっかり広報し、周知してほしい。</p>
288	<p>こどもまんなか社会は、日常から出たこどもの意見を聴き、まちづくりに活かしていくことだと思う。こどもの思いを取り入れていくことで「こどもまんなか社会」に少しずつ近づいて行けると思う。吉野川市をみんなが楽しく暮らせる社会にするためには、身近に子どもが楽しく遊べる施設があることや、身近で開催されるイベントがあればいいと思う。</p>

No.	意見
289	<p>私は、吉野川市に東京のように多くの人がいる場所になって欲しいと思う。多くの人がいれば、働く人が増え、後継者不足でやめてしまう農作業をする人ができ、労働力の問題が解決するからだ。そして、多くの店舗ができれば、市外(県外)からもたくさんの人に来ようになり、ますます人口が増える循環が生まれ、どんどん吉野川市が発展すると思うからだ。多くの人が入り出すようになれば、ゴミのポイ捨ての問題も大きくなるかも知れない。ゴミ拾いのボランティア活動することも大切だ。私も自分にできることををがんばろうと思う。</p>
290	<p>友だちと遊ぶことのできる大型ショッピングモールができてほしい。映画館もあればなおいいと思う。今は観たい映画があっても諦めることが多い。 また、税金が高くなると両親が困るので、使い方をしっかり考えて欲しいと思う。</p>
291	<p>私が思うこどもまんなか社会は、子どもたちが安心安全に暮らし、楽しく生きられるような社会だ。そのために子どもも大人も楽しめる施設として、公園のように無料で誰でも遊べる施設や入場料を払うと自由に飲食ができるような施設をつくってほしい。また、大型ショッピングモールをつくって欲しい。新幹線も通して欲しい。便利に買い物に行くことができ、また、行きたいところに早く行けるようになると生活はとても便利になるからだ。</p>
292	<p>今の吉野川市は地味だと思う。友だちの遊びに行くとき、自転車で近くのコンビニや公園に行くことがほとんどだ。遠くのショッピングモールまでJRで行くには時間もお金もたくさんかかるからだ。吉野川市も少しずつ店舗が増えて、いつか大都市のように賑やかになり、県外や外国人にもよい印象を持ってもらえるような町になって欲しいと思う。吉野川市が、今よりもよりいい雰囲気の町、明るい町になることを願う。</p>
293	<p>近くに大型ショッピングモールをつくって欲しい。今は市外の遠いところまで行かなくてはならず、時間もかかり大変だからだ。駅周辺や国道沿いなど交通の便のよいところにできればいいと思う。いつも親に送迎してもらい迷惑をかけていたので、近くにできると便利になり嬉しい。</p>
294	<p>私は、明るく楽しく、ずっとこの市にいたいと思えるような吉野川市になればいいと思う。有名人のコンサートをしたり、吉野川マルシェのようなイベントを開催すると、市内外から多くの人に来て楽しむことができ、吉野川市は楽しい町だという印象を持ってもらえると思う。また、安心できる町にするためには、地域の清掃や除草作業をすることが必要だ。タバコの吸い殻や空き缶のポイ捨てがあるし、伸びた草が道を塞いでいたりする。交通マナーも大切だ。雨上がりの狭い道を猛スピードで走ってくる車に、水たまりの水を思い切り掛けられ制服がびしょ濡れになったことがある。看板で周知するなどで防ぐことができると思う。これらのことを行うことで、吉野川市がよりよく住みやすい町になると思う。</p>
295	<p>吉野川市に大型ショッピングモールをつくってほしい。今は市外の遠いところまで行かなくてはならないため、近くにできれば子どもだけで行くこともできて便利だ。また韓国の料理店や服の専門店、いま話題になっている物を売っている店舗があれば、人が集まり賑やかになると思う。ネットショッピングは確かに便利だが、自分の目で見て、気に入った物をその場で買えるほうがいい。</p>

No.	意見
296	<p>私の理想の吉野川市は、みんなが安心安全に楽しく生活できる町だ。そのために、こどもの遊べる場所をつくってほしい。今は車かJRで行くしかない大型ショッピングモールが吉野川市にできればとても嬉しい。また、吉野川市に行きたいと思ってくれる人が増えるといいと思う。吉野川市の自然の豊かさはとても魅力的だと思うので、ゴミのポイ捨てなど自然を汚すようなことはしないようにしてほしい。他県の人から、行ってみたい、きれいな、楽しそうだなと思ってもらえる町になるのが私の理想だ。</p>
297	<p>こどもが楽しめる施設をつくってほしい。大型ショッピングモールなどに行こうとすると、今は徳島市や県外に行くことになるが、吉野川市にできればとても便利になる。また季節ごとにイベントをすると思う。吉野川市には、大きなデメリットとして公共の交通機関がJRしかないという不便さがある。電車にするなどもっと良くなれば、吉野川市を訪れる人も増えると思う。</p>
298	<p>私の考える理想の吉野川市は、みんなが暮らしやすいことだ。道路にゴミが落ちていないとか、公共の場所がきれいに保たれていることなど。そのためには一人ひとりがマナーを守ることが必要であり、みんなが気をつけることで気持ちのいい吉野川市になると思う。また、近くに店舗がないため、大型ショッピングモールができれば買い物が便利になるのでつくってほしい。最後に、こどもがもっと意見を言いやすい環境をつくるのが大切だと思う。おとなもこどもも平等に意見が言える社会になって欲しい。</p>
299	<p>こどもが安全に遊べる場所があればいいと思う。例えば、イベントを増やす。今の吉野川市の魅力を考えて、いまひとつピンとこない。イベントがたくさんあれば吉野川市は楽しいところだという印象を持ってもらえると思う。大型ショッピングモールもできればいいと思うが、正直少し難しいように感じるので、せめてイベントが増えればいいと思う。また、みんなが安心できるまちづくりには、ゴミのポイ捨てはなくさなくてはならないと思う。</p>
300	<p>こどもが遊べる場所をつくってほしい。JRで遠くまで遊びに行くには、JR代にたくさんのお小遣いが必要なため近くに公園や大型ショッピングモールができると嬉しい。また、近所の空き家対策をしてほしい。崩れかけているものもあり、通学路沿いのものなどとても危険だと思う。理想の社会に近づけるよう、私自身あらためてもう一度考えてみたいと思う。</p>
301	<p>大型ショッピングモールや飲食店が近くにできればいいと思う。近場にできることで家族と行く機会も増え、今よりも家族と会話する時間を大切にできる。また、友だちと遊びに行くとき、今はJRに多くのお小遣いが必要だし、時間もかかるため、あまりたくさん遊ぶことができない。もし近くにあれば、もっとたくさんの時間を友だちと過ごすことができ、思い出がつかれると思う。</p>
302	<p>理想の吉野川市は大型ショッピングモールをつくるなど、徳島市のように都市化して行ってほしい。就職で東京など都市部に出て行ってしまおう人が多いため、仕事を増やす→人が増える→店舗、施設が増える→稼ぐ→人が増えるという循環をつくるのができればいいと思う。動物園や水族館など観光施設、ホテルやマンション建設も必要だ。自然や文化を残しつつ都市化できるのが私の理想だ。</p>